

2024 | 出願受付期間 |

4月入学	出願受付期間
第1回募集	2024年2月 5日(月)～2月29日(木)
第2回募集	3月 2日(土)～3月29日(金)※
第3回募集	4月 1日(月)～5月 1日(水)

全回最終日必着

10月入学	出願受付期間
第1回募集	2024年7月10日(水)～8月10日(土)※
第2回募集	8月19日(月)～9月20日(金)

全回最終日必着

注意: 科目等履修生の出願受付は※の期間のみ

JWU Wave について
2021年9月に、日本女子大学はグラフィックモチーフ「JWU Wave」を設定いたしました。
「JWU」=Japan Women's University というアルファベット3文字を、軽やかなオブジェクトとしてデザイン化しています。
強い信念を持ち、かつ、しなやかに変化し続けていくことへの意思が込められています。

日本女子大学通信教育課程

〒112-8679 東京都文京区目白台2-8-1
TEL 03-5981-3200 (直通)

<https://www.jwu.ac.jp/ccde/>



個人情報保護について
出願にあたって提出いただいた氏名・住所、その他の個人情報は、日本女子大学個人情報保護方針により取り扱います。本学個人情報方針につきましてはホームページをご覧ください。
<https://www.jwu.ac.jp/grp/sr/privacy.html>



日本女子大学通信教育課程 JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY CORRESPONDENCE COURSE

入学ガイド
2024

家政学部

児童学科

食物学科

日本女子大学通信教育課程 家政学部 入学ガイド2024

あなたの夢・未来・希望をかなえる

日本女子大学通信教育

“生活を科学する”家政学は、生活の質の向上と人類の健康、安全、福祉に貢献する実践的総合科学です。

そうした家政学を学ぶ中で、理論を実生活に応用することにより、職業的能力などを大きく発展させることもできます。

そして家庭や仕事を大切にしながら、皆さんが自分らしく目標に向かってステップアップできるような環境を、私たちがバックアップします。



創立者 成瀬 仁蔵

沿革

日本女子大学の創立者・成瀬仁蔵は、我が国における女子教育のパイオニアとして知られています。1896年、『女子教育』という著書で女子大学設立運動を起こし、多くの人々の共感と援助を得て、1901年に日本女子大学校を開校しました。そして、1907年には「大学拡張(ユニバーシティ・エクステンション)」を唱え、「大学教育をキャンパスだけでなく、広く社会に普及する」という、生涯学習を可能とする教育環境づくりに着手。この活動が、本通信教育課程のルーツとなりました。

具体的には、日本女子大学の卒業生の組織である「桜楓会」の中に女子大学通信教育会を組織し、講義録である『女子大学講義』を発刊。また、日本女子大学の教員による各地域の巡回講義、夏期学校、講習会など、当時経済的な理由やさまざまな社会的事情により高等教育を受けられなかった多くの女性に、大学教育の提供を目指しました。このような実績に支えられて、現在の家政学部通信教育課程が設立されたのです。

教育綱領 三綱領

「信念徹底」

自己を見つめ、信念を確立

人格を高めるには、各人が、自らの思想や精神の根源となるものを問い続け、検討を繰り返すことが必要です。自己を変え、創造していくためには、内省だけではなく、知的に自分の信念を探究しなければなりません。「信念徹底」とは、その人の人生観、行動の源となる思想を創り上げることを意味します。

「自発創生」

自発的な試みから独自性が生まれる

人は一人ひとりみな違っており、それぞれに天賦の才があります。成瀬は、各人の創造的能力は、徹底的に探究する心、構成能力や発表の技能の養成を通じて磨かれると考えました。「自発創生」という言葉には、自学自動、自立、自主などを重視し、自由と責任のある態度からその人ならではの独自性、固有性を生み出してほしいという願いがこめられています。

「共同奉仕」

社会との交わりが人を成長させる

個々に己を磨くことは大切ですが、人は、社会関係の中で生きるものです。社会の中で各人が成長をとげながら「共同奉仕」の心を持ち、相互に交流し、よりよく同調することが望まれます。家庭、社会、国家、世界へと広がるべきこの理念を育てるため、本学では学生自治会や卒業生の会の活動を奨励しています。

※本学は、家政学を学べる日本で唯一の通信教育機関です。

アドミッション・ポリシー (入学者受入方針)

児童学科



児童学科は、「発達」「社会・臨床」「創造・文化」の3領域からなる児童学を学ぶ学科である。専門の学びを通じて、18歳未満の子どもの生活者として多角的に理解し、国際社会の一員として子どもと共に文化を継承・創造することのできる人材を育成することを目指している。

《求める学生像》

- 児童学を学びたいという意欲のある人
- 「発達」「社会・臨床」「創造・文化」の3領域に幅広い興味を持つ人
- 子どもや子どもを取り巻く課題を多角的に理解し、解決しようとする人
- 子どもと共に文化を継承し、創造しようとする人

《入学までに修得すべき学力》

- 論理的に物事を考える基礎的な知識と思考力
- 自分の考えをまとめ他者に正しく伝えることができる基礎的な表現力
- 他者とコミュニケーションをとり、協働して課題解決する力

上記の学力を身につけているかを判定する入学者選考を以下の基本方針で行う。入学までに身につけるべき基礎的な学力を有しているか、ならびに学修への意欲、自分の考えを表現する力、コミュニケーション力および協働性を有しているかを出願書類により総合的に判定する。

食物学科



食物学科は、「生活者」の視点を重視して「食」を科学的に学ぶ学科である。「食」に関する専門的知識の学びを通して科学的・論理的な思考力、洞察力、創造力を養い、これらを活かして食関連の様々な領域で活躍できる人物を育成することを目指している。

《求める学生像》

- 生活や社会における様々な「食」に関する問題に関心を持ち、「食」を科学的に深く学びたいという意欲のある人
- 「食」に対して知的的好奇心と探求心を持ち、主体的に学修に取り組む意欲のある人
- 身につけた「食」に関する知識・技術を基に、食品企業や行政、教育現場(家庭科教諭)などで社会に貢献したいと考えている人
- 科学的な知識・技術や考察力を身につけ、社会で活躍したいと考えている人

《入学までに修得すべき学力》

- 高校で履修した諸科目、特に化学、生物、数学の基礎学力
- 英語の読解力
- 論理的に物事を考える基礎的な思考力
- 自分の考えをまとめ他者に分かりやすく伝える表現力
- 他者とコミュニケーションを取り、協働して物事に取り組む力

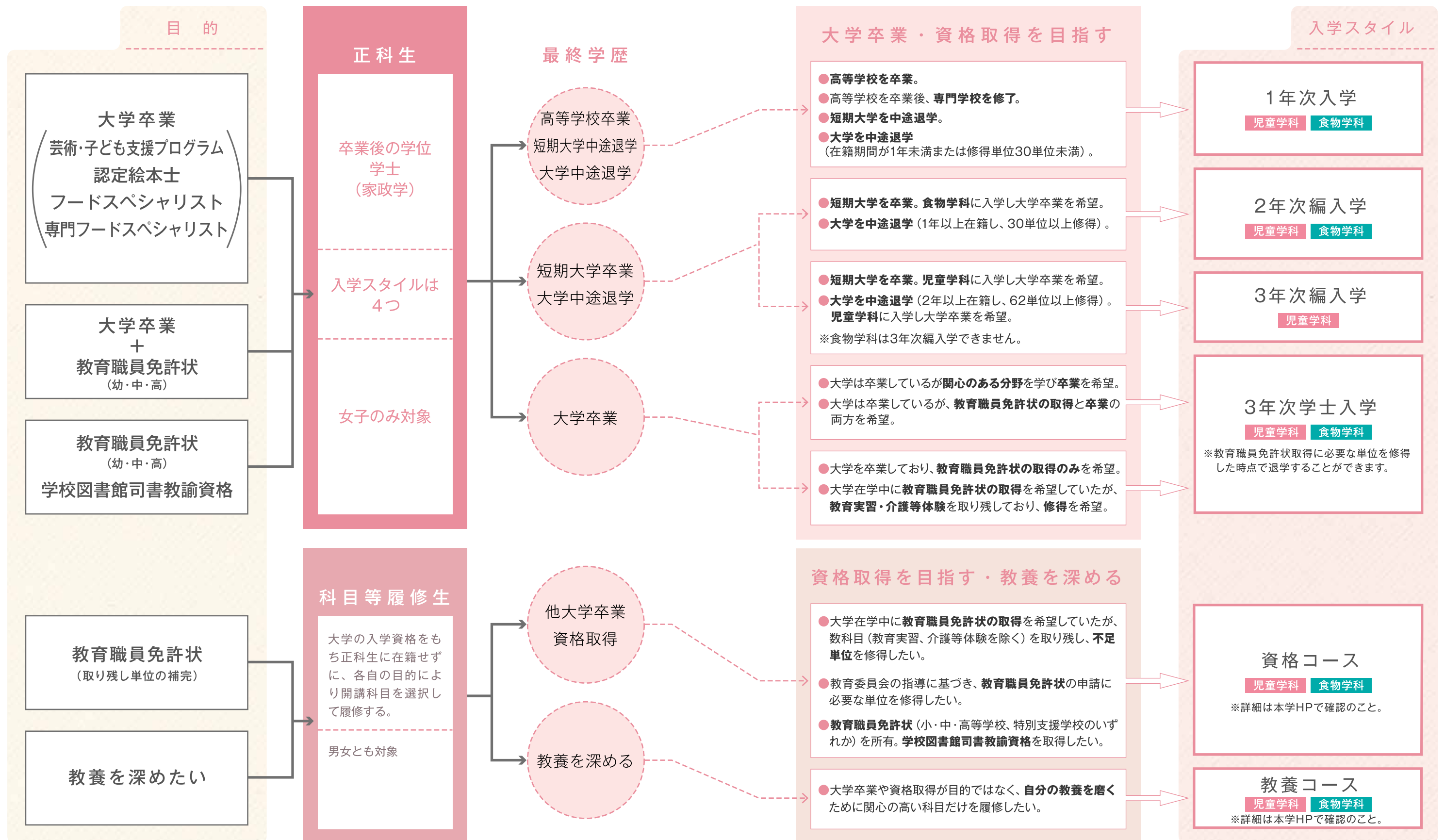
上記の学力を身につけているかを判定する入学者選考を以下の基本方針で行う。出願書類により、基礎的な思考力、わかりやすく伝える表現力、学修を継続させる計画力と意欲を判断する。

※次の資格は取得できません。保育士・栄養士・管理栄養士・栄養教諭・図書館司書・博物館学芸員

Contents

入学コースについて	2
学科について	
児童学科	6
食物学科	10
学習方法について	
学習の流れ	14
学習活動とICT	15
テキスト学習	16
スクーリング	17
家政学部通信教育課程3方針	18
カリキュラムについて	
[正科生]	20
履修科目	
各学科共通科目	22
児童学科科目	23
食物学科科目	24
特別聴講学生制度 学生支援	25
教育職員免許状 取得方法フローチャート	26
教育職員免許状の取得について	28
一般的な取得方法	28
教育職員免許状別履修科目一覧 (幼稚園・中学校・高等学校)	29
教育実習	31
所有する教育職員免許状をもとに 他の教育職員免許状を取得	33
学校図書館司書教諭について	35
“教育職員免許法施行規則に定める科目”と 本学開講科目対照表	36
Q&A	38
2024年度募集要項	
入学資格	44
出願に当たって	46
出願時期と学習活動の目安	47
出願時納入金	48
必要書類	49
コード表	55
変更届用紙	58
入学説明会について	59

2つの入学コース、6つの入学スタイルからあなたに合った学びを見つけることができます。





学長 篠原 聡子

有意義な学びの時間を

本学が、日本初の女子高等教育の通信教育を開始したのは、1909年に遡ります。成瀬仁蔵によって、日本初の組織的な女子高等教育機関として日本女子大学校が創立されたわずか8年後ということになります。その当時は、女子が高等教育を受けられる機会は極めて限られており、通信教育はその機会をできるだけ拡大するという意味で大変画期的なものでありました。しかし、現在、教育の機会は、男女平等に開かれ、当然ながら通信教育の存在価値は大きく変わりました。人生100年といわれる長い時間の中で、なおかつ不確実性の時代と言われる社会にあって、学び続けることの意味は大きくなってきています。そこに、通信教育の現在的な意味があります。とくに、本学の通信教育課程は家政学部があり、生活に密着した学問を主軸としており、豊かで持続可能な社会を実現するという理念に根差した実践的な学びは人生を支えるものとなるでしょう。

どんな状況でも、どこに居ても学ぶ機会を提供することができる通信教育課程の存在意義はこのコロナ禍にあって、再確認されました。この後は、eラーニングなどの充実、通学課程との連携など、さらに通信教育課程の充実をはかり、学生のみなさんに有意義な学びの時間を提供したいと考えております。

真剣な学びがあなたの心の拠り所になる

日本女子大学の通信教育課程には、大学を卒業することで学士号の取得を目指す方、学士号の取得とともに様々な資格や免許を目指す方だけではなく、教員免許状の取り残し単位を補完したい、あるいは特定の科目を受講することで教養を深めたいといった理由で科目等履修生となる方もいます。目的も経歴も住む場所も年齢も異なる学生たちが、あるときはテキストで、またあるときはスクーリングで自らの目標や夢を達成するために学んでいます。

家政学は「生活を科学する」学問であり、人々の生活をより豊かにするために存在しています。私たちの日常生活における身近な疑問を理論的に解明し、学んだ理論を実生活に応用し、還元することができるという意味において、家政学は私たちの日々の暮らしに根ざした学問であるといえるでしょう。何気ない日々の暮らしの中のちょっとしたことも、先人たちの深い知恵や洞察、努力の積み重ねによって成り立っているということがわかると、人生の視野が広がるのではないのでしょうか。

真剣に学んだことは、必ず心の拠り所になります。ここでの学生生活が皆様の人生を更り多きものにする助けになることを願ってやみません。



家政学部長 伊ヶ崎 大理



日本女子大学通信教育課程3つのポイント

みなさんこんにちは! 日本女子大学通信教育課程の3つのポイントをご紹介します。

その1 日本で唯一、家政学を通信で学べる大学!

その2 多彩なプログラムと資格

その3 長い歴史と伝統



通信教育課程長 森 理恵

その1 家政学を通信教育で学べるのは日本女子大学だけです。「家政学」という言葉になじみのある方もない方もおられると思いますが、家政学は、生活の中の身近な疑問を大学卒業・学位取得や資格取得につなげられる学問です。みなさまの毎日の生活のなかでの気づき、あるいはそれぞれの職場での気づきをもとに学びを進めていくことができます。

このことは、さまざまなライフステージにおられる女性の方々にとって、とても魅力的なことではないでしょうか。

その2 日本女子大学通信教育課程は多彩なプログラムと資格をそろえています。教職では学科により、幼稚園教諭、中高の家庭科、学校図書館司書教諭を取得できます。また、本学独自の「芸術・子ども支援プログラム」や、認定絵本士養成講座、フードスペシャリストの受験資格など大きな反響をいただいております。

その3 日本女子大学は女子大学の草分けですが、通信教育も1909年に開始しました。新制大学の通信教育は1949年に始まりましたが、本学はそのオリジナルメンバーの5大学に入っています。長い歴史のなかでたくさんの通信卒業生が各界で活躍されています。同窓会もあり、そのネットワークが在学生・卒業生を支えます。日本女子大学の通信教育で、楽しく学んでまいりましょう!!

食科学部通信教育課程食科学科(仮称)の開設を構想中です!

日本女子大学では、2025年4月に食科学部(仮称)を開設予定としておりますが、同2025年4月に食科学部のうち食科学科(仮称)に通信教育課程を開設することを構想しておりますので、このたびお知らせすることにいたしました。それに伴い、家政学部通信教育課程食物学科は2025年度より募集停止となる見込みです。

なお、家政学部通信教育課程食物学科が2025年度より募集停止となった場合も、2024年度までの入学生を含めた全ての在学生に対しまして、卒業に至るまで教育の質の低下とならないよう、これまでと同様に学生への支援をしてまいります。

食科学部通信教育課程食科学科(仮称)の開設および家政学部通信教育課程食物学科の募集停止が正式に決定しましたら、本学ホームページにてお知らせいたします。

2023年12月 日本女子大学

児童学科



取得できる
資格

- 幼稚園教諭一種免許状
- 学校図書館司書教諭※
- 認定絵本士

2021年度から認定絵本士養成講座が始まりました

子どもたちの健全な
心身の発達と人間形成を、
トータルな視点から研究する。

児童学科は、児童の心身の発達や、健全な人間形成の条件とは何かについて必要な知識と技能を修得し、多方面から総合的に研究することを目指しています。

さらに、児童学科の科目以外にも、必要な科目を加えて履修することで、幼稚園一種の教育職員免許状及び学校図書館司書教諭※の資格を得ることができます。

※小中高の教員免許所有者に限る



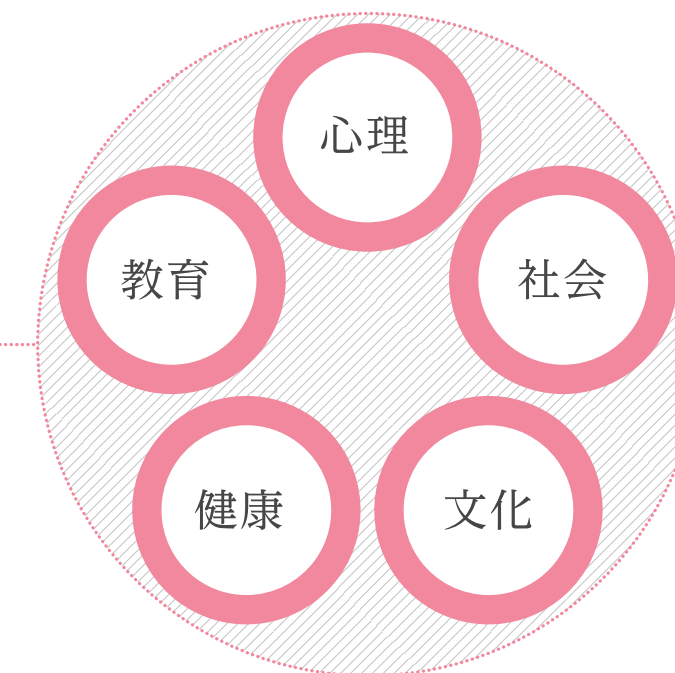
心理・教育・健康・文化・社会の 5つの視点から子どもを理解する。

子どもを科学し、子どもを総合的に理解するために…。

児童学科では5つの柱を立て、「心理・教育・健康・文化・社会」の主要5分野でカリキュラムを構成しています。

これらの5分野をバランスよく全体的に学習することで、子どもをめぐる様々な問題の所在を認識し、子どもへの理解を深めていきます。

児童学科主要5分野



根津 知佳子 教授

世代や地域を超えた対話を通して、
子どもを深く理解できる人を育みたい。

私は音楽に関わる授業科目を担当しています。長年、創造的な音楽活動について実践・研究してきましたが、コロナ禍の中、対面での活動はもちろん、歌うことも楽器を奏でることも制限される毎日が続きました。改めて「教える＝学ぶ」という授業や音楽活動がいかに“敬虔”であるか、教室に学生がいる、奏でることができる、学生と対話ができることがどれだけ尊いものであるのか、痛感する日々でした。

このような状況下でも、学生の学ぶ意欲は変わりませんでした。むしろ、「もっと知りたい」「もっと学びたい」「いろいろな考え方を知りたい」という声が強くなっていると言っても過言ではありません。その「志」に寄り添えるように、児童学科の教員一丸となって努めていきたいと考えています。

大学では、自己決定によって時間割を構成し学問を「修得する(学修)」ことが求められます。これは、自律した学修者を育成することを意味します。人それぞれ異なる生活世界を持っていますが、「知」を介してお互いを理解し合えることが通信教育課程の学びの独自性だと考えています。世代や地域を超えた対話や交流の醍醐味を、是非経験してください。長い歴史を持つ本学通信教育課程で、「現在の子どもをめぐる課題」や「これからの保育や教育のあり方」をご一緒に考えていきましょう。

学ぶことの喜び

《1年次入学》
近藤 英子さん

学びたい、その一心で

社会福祉法人で事務職をしていた私は、こども園の事務を担当することになりました。そこでは、毎日が新鮮で刺激的でした。専門職として日々忙しく業務にあたっている保育士や先生の姿を見て、自分も子どものことを知りたい、深く学びたいと思うようになりました。かねてから大学入学を希望していたこともあり、迷わず、日本女子大学家政学部通信教育課程児童学科に入学の手続きを行いました。

児童学を一元的に

10年前の入学オリエンテーションの日に緊張して女子大の校門をくぐったことは、今でも鮮明に覚えています。入学すると早々に届

Close-up

いたテキストに感激し、何から手をつけてよいのか戸惑いながらも、やりたかった勉強ということもあって『発達心理学』を貪るように読みました。感動で体の芯が震えました。テキストと並行して参考書も読み、レポート課題作成に取り組みました。テキスト科目は、本当に理解できていないとレポートも科目修了試験も合格できないので、テキストを熟読し考察する必要があります。私の勉強法は、書いて覚えるやり方で科目ノートを作って科目修了試験対策用に用いました。スクーリング科目での学友たちとのディスカッションや、学食での楽しい会話など、思い出もたくさん作ることができました。

学びを進めていくうちに、単位修得するだけでなく児童学を一元的に学ぶことができる教育システムだということが理解できました。これからの時代を生きる大切な子どもたちを社会全体で育てていかなければならないと考えるようにもなりました。

児童学科入学を検討している方々に、日本女子大学の素晴らしさをお伝えできたら幸いです。



一歩踏み出して

《3年次学士入学》
葛和 みなみさん

幼稚園免許を取得するために

幼稚園教諭の取得を目指し、資格を取得できる通信制の大学を探していました。教員免許を取得するためには教育実習が必須であり、実習先の確保が必要ですが、私の場合母校は海外、金融機関勤務の夫にいつ転勤の辞令が出るのか見当も付かないため、実習先の自己開拓は難しい実情がありました。日本女子大学の通信教育課程なら、伝統ある附属豊明幼稚園で実習を実施することができることを知り、迷わず入学を決めました。

子育ても学びも粘り強く

在学中に3度の全国転勤があり、地方を転々としてきました。子どもも小さかったため、自宅で学べるようテキスト科目を多く履修しましたが、自分のペースで学べる反面、自力で学習内容を理解する必要があります。当初はまとまった学習時間を確保できず、専門用語にも苦戦し、提出できたレポートは半年でたったの2つ。理解力の低さと、取り組まなかった言い訳を考えている意志の弱い自分に落胆しました。そ

Close-up

んな折、集中スクーリングで知り合った先輩方に学習時の工夫を尋ねたところ、テキストを開く前に補助教材の「学習の手引」を熟読するよう助言されました。もちろん一読してから学ぶようにはしていましたが、「学習の手引」を何度も読むことで概要が頭に入り、テキストの内容が腑に落ちる感覚がありました。さらに、どうすれば学習に取り組めるかということを一単位で考え、学習に充てる時間を予定に組み入れるようにしました。下の子どもが三歳を迎えてからは子どもの幼稚園入園の練習も兼ねて、レポートを書く日は一時保育をお願いするようにして学習時間を捻出しました。精一杯の学習の成果を詰め込んだレポートに対して、先生は必ずコメントを寄せてくださいます。一人一人のレポートに目を通し、個別に指導していただいていることを実感でき、孤軍奮闘の日々の励みになりました。

また、スクーリング単位の修得も卒業のための必須要件となっていることから、通信制でありながらも、学生間で交流が生まれ、卒業して尚、郡山学習会、卒業セミナーや教育実習の仲間との温かなご縁に恵まれています。夏期スクーリング受講中や教育実習期間中は子ども達には寂しい思いもさせてしまい、夜間のトイレトレーニングが振り出しに戻ったこともありましたが、それでも、あの時一歩踏み出して良かったと強く思います。学びを支えてくれた家族や親族への感謝を忘れず、学んだことを社会に還元していきたいと思っています。



特色のある科目

発達心理学 1・2

個性・自己意識の形成される姿を学ぶ

受精卵として母体の中で誕生したヒトは、多種多様な環境と相互作用を行いながら、唯一無二の"その人らしさ"を持つ個人として、成長・発達していきます。授業では、そのような個性や自己意識が、生涯を通じて、どのように形成されていくかを中心に学んでいきます。子どもたちの成長・発達を促す社会的な担い手や、人格や認識の発達過程などが取り上げられます。生涯発達という観点を大切にしていきたいと考えています。

心 理

幼児教育方法論

資格取得に、実践に役立つ

子どもの豊かな成長や発達のためには、保育・教育を成り立たせるための大人の働きかけが必要です。しかし近年、子どもたちを取り囲む状況は大きく変化してきています。中でもインターネットを始めとする情報技術の革新による生活環境の大きな変化は、好むと好まざるとに関わらず子どもたちの日常生活に大きな影響を及ぼしています。現代社会で育つ子どもたちのより豊かな成長・発達を実現するために、保育・教育目標に合致した適切な教育の方法及び技術とはなにか。それらについて教育学、心理学などの立場から学んでいくのがこの科目です。

教 育

表現アートセラピー 1

心理的成長を促す

表現アートセラピーは、様々な表現（絵や粘土、ダンス・ムーブメント、音楽、ドラマ、詩や物語等）を用いる芸術療法です。アート表現がどのように人を癒し、心理的成長を促進し、共感力や協働する力、コミュニケーション力を高めるかを学びます。人間性心理学に根ざすカウンセリングマインドを習得し、実習を通して自己の内面を探索し、自己理解を深めることも目標となります。

心 理

児童文学

子どものために書かれた本

～児童文学とは何か、その文化的・歴史的背景を探り、「子ども観」の変遷を考える～

児童文学は子どものためにおとなが書く読み物です。それがいつ、どんなところから発生し、発展して今に至ったのか、児童文学が持つ二つの働き―楽しませること／教えること―はどのようにその中で絡んでいるのかを学びます。一見、単純に見える物語の中に、おとなが子どもをどう見ているか、子どもを取り巻く社会はどう変わってきているかななどの問題が浮かび上がってくるでしょう。児童文学の世界の深さに様々な角度から迫り、絵本、ファンタジー、ノンフィクションなどその諸ジャンルの多彩さを詳しく検証していきます。

文 化

小児保健学 1

心と身体の両面からケアするために

小児保健学では、小児の心身健全な成長を図るための育児や保育の考え方、方法を習得します。また、心身の健康に及ぼす環境の影響、事故防止、安全教育、感染症に対する予防などについても学びます。子どもの場合、特に心身未分化なため、心と身体 の両面を、いつも留意する視点を養うことが重要となります。

健 康

芸術・子ども支援(大学認定)プログラム

芸術療法的アプローチを用いて子どもに自由で豊かな表現の場を与え、子どもの健全な成長を支援する者を育てたいという発想で、「芸術・子ども支援」のプログラムが2018年度から始まりました。指定された単位を修得することで卒業時に大学から修了証が発行されます。

これらの科目を多角的、総合的に学ぶことで、子どもの自由で独創的な表現を促進し、自己肯定感や個性を育て、子ども同士のコミュニケーションを活性化できることが期待されます。このコースは保育や教育の分野のみでなく、医療や福祉など多領域で役立つものとなっています。さらに学生自らのイメージーションや創造性を解放することも目指しています。のびのびと子どもが遊び、表現できる場をつくるには、子どもと接する者も心身が解放され、自己表現できる必要があります。

「認定絵本土」養成講座

規定の単位を取得することで「認定絵本土」の資格が取得できます。認定絵本土は、独立行政法人国立青少年教育振興機構に事務局のある絵本専門士委員会が認定する資格です。絵本は、発達段階にある子どもたちの言語力、感性、理解力などを促進させ豊かな人格形成をもたらします。この資格取得後、絵本の魅力や可能性を伝え地域の読書活動を充実させる等の実務実践経験を積むことで、絵本の専門家である「絵本専門士」の認定を受けることができます。各種保育施設や学校、図書館、児童館、医療機関などで活躍が期待される資格です。

対象科目は「子どもとマルチメディア」「絵本学概論」「子どもと絵本」の3科目です。3科目とも3年次以上が履修可能です。同一年度の1年間で3科目を修得する必要があります。

受講者数に制限があるため、人数調整により受講できない場合があります。

スクーリング開講期の都合上、入学年度に履修登録できるのは、4月入学第1回目の児童学科正科生で3年次編入学又は3年次学士入学の方のみとなります。

食物学科



- 取得できる資格
- 中学校教諭一種免許状(家庭)
 - 高等学校教諭一種免許状(家庭)
 - 学校図書館司書教諭
 - フードスペシャリスト(受験資格)
 - 専門フードスペシャリスト(受験資格)

健康を支える食生活のため、 食品・調理・栄養の 理論と技能を学びます。

食物学科は、学校・職場・地域などの生活の場における食物の本質を科学的に究明します。さらに、健康的で活動的な心身の発達と維持のために必要な要件を明らかにし、多様化する食生活に対応する理論及びその技能の修得を目指します。

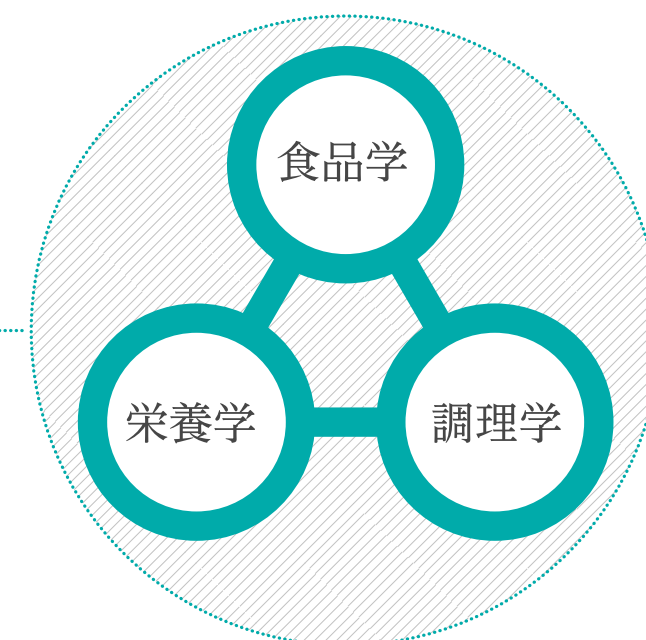
食物学科の科目以外に必要な科目を加えて履修することにより、中学校一種・高等学校一種「家庭」の教育職員免許状及び学校図書館司書教諭の資格、また、受験によりフードスペシャリスト資格も得ることができます。



「食品」「調理」「栄養」をより深く、 専門的に学ぶ。

本学の食物学科教育は食品学、調理学、栄養学の3分野から成り立っています。これら3分野は農学系、医学系と共通する科目と調理学関係の科目からなり、食に関する理解や新知見への発展・展開の基礎となっています。また、3分野を深く理解するための基盤として、基礎科目(基礎化学、生理学、食品・栄養学基礎実験、微生物学)が設置されています。

食物学科主要3分野



五関 正江 教授

「食」の重要性を学び、 社会に還元できる人に。

近年、食生活に関わる環境が大きく変化してきています。これに伴い様々な食品に関わる問題が発生し、私たちの生活に多大な影響を与えています。そこで、「食を通した生活習慣病予防のための知識」や「子どもたちに対する食教育の必要性」が現在強く求められています。また、食の安全性についても、食物の生産から消費までのあらゆるステージで脅威が出現しており、これらに対する知識も欠かせないものとなってきました。

このような状況の中、食物学科に、その解決が期待される課題は多く、社会からの期待は高いものがあります。本学科では、食についての正しい科学的知識を学び、その知識を生活に活かせる人材の育成を目指しています。食物学科のカリキュラムは食品学、調理学、栄養学を三つの柱として構成されています。また、この3分野を理解するための基盤として基礎科目が設けられています。食が私たちの生活や人生とは切っても切れない関係にあることは言うまでもありません。通信教育はまさに生涯学習の場です。食をサイエンスとして学び、それを生活や人生に活かしていきましょう。

とにかくやってみる

《1年次入学》

渡邊 美智子さん

学習計画の大切さ

「大学に入ってみたい。食について科学的に学びたい。」その思いから悩んだ末入学を決意しました。1年次入学で全てが1からのスタートでした。

テキスト科目の学習は、まずリポートの書き方の参考書を読むことから始めました。食物学科は必修科目が多く、実習科目や実験科目の受講には決められた科目の履修済みが条件となっていて、基礎科目や教養科目を履修しながら学科科目の履修も計画的に進める必要があります。早い段階から修得科目の優先順位を把握し、年度単位の長期的かつ月単位の短期的な履修計画を立て、「月に1科目はリポートを提出する、全ての科目修了試験を受験する」と自分なりの目標を立てました。卒業までの長い道のりを自分のペースを保って辛抱強く学習することが肝心です。また、リポートは多少不完全であっても臆することなく提出したほうが、先生からの添削を受けることで有効に学習することができます。



かけがえのない経験

スクーリング科目は、入学の早い段階から積極的に受講しました。学びの楽しさを実感でき、仲間と出会い良い友人関係を築ければ、卒業までのモチベーションの維持に大いに貢献することになります。また、通学科目スクーリングは、成績評価基準や修得単位数などの諸条件はありますが、通学課程の一部の科目を通学課程の学生に混じって受講することも可能で、私は最終年度の後期に通学課程の「運動生理学」を受講し、かけがえのない経験となりました。

大学での学びは平坦なものではありませんが、自分が望めば得るものは想像以上に大きいと感じます。「とにかくやってみる」一歩踏み出す勇気も大切です。

自信と達成感と

《1年次入学》

2023年3月卒業生

大学に入るとい選択

私は「食べることが好き」という単純な理由で食物学科に入りました。入学当初は「勢いで入ってみたものの仕事と勉強の両立ができるだろうか…」と少し不安でしたが、卒業した今では、私の人生の中でとても良い選択だったなと感じています。両立に苦労したことも含めて、在学中に頑張った経験が自信という財産になりましたし、様々な年齢や職業の方々が意欲的に学習している姿に刺激を受けました。

また、普段の生活の中に「大学生活」が加わることで、気分転換にもなりました。図書館はとても綺麗で蔵書も充実していて調べものや勉強が捗りました。授業後に食べる学食の焼き立てパンや購買部の

女子大グッズも楽しみのひとつで、勉強のモチベーションアップにつながりました。

食物学科の授業

テキスト科目は、自分のペースで学習を進められる反面、リポートや科目修了試験が難しく苦戦した科目もありましたが、リポート添削指導時の先生からの丁寧なコメントや学習相談会での先輩からのアドバイスのおかげで、乗り越えることができました。

スクーリング科目は、特に夏期スクーリングが連日の実験実習やスライド発表などで慌ただしい日々でしたが、LINE グループやPowerPoint の共同編集などを駆使して乗り切ったのが良い思い出です。食品の物性や調理性を学べた「調理科学実験」、和洋中の豪華なメニューを作った「調理学実習Ⅱ」、栄養がより身近になった「基礎栄養学実習」など、どの科目も内容がギュッと詰まった授業でした。食物学科は必修科目が多くて大変なところがありますが、その分達成感も大きいですよ！

特色のある科目

食品・栄養学基礎実験Ⅰ・Ⅱ

基礎的な分析手法を学ぶ

実験Ⅰでは、様々な食品成分に関する定性実験、酵素の性質実験を通して実験器具の基本的な操作を理解した上で、様々な定量実験で利用される容量法（滴定実験）、光度法（Ⅰ）について基礎的な実験を通して実践することで実験手技・理論の基礎固めを行います。実験Ⅱでは、実験Ⅰで学んだ実験手技・理論を用いて食品成分（デンプン、たんぱく質、脂質等）に関する様々な定量実験を実践していきます。実験Ⅱで用いる定量実験は食品成分表に記載されている成分量の算出法にほぼ準拠していますので、履修により世の中で実際に行われている分析手法を理解し、身につけることができます。

食品学

食品についての正しい知識・理解を

食品の情報は世の中に氾濫していますが、食品について正しく理解することは栄養摂取上、調理・加工上とても重要です。食品学では、食品の成分組成、理化学的性状、栄養特性、利用法など、基礎的なことを広く学び、正確な知識を得ることを目的としています。含有成分の特徴により食品を分類し、主要な食品を中心に学習します。さらに各々の食品の類似点、相違点についても理解を深めます。

社会・環境と健康

疾病予防のために生まれた学問

衛生学・公衆衛生学という社会医学の一分野を学びます。19世紀半ば、まだ細菌も発見されていない時代に、環境を改善すれば疾病は防げるという疾病予防のための疫学を主とした方法論として始められた学問領域です。現在でも疾病予防を主要な目標としています。集団、コミュニティを基本的な研究対象にし、保健統計、人口問題、環境問題、保健・医療・栄養・衛生行政、社会保障などについて広く学びます。本来は「健康科学と予防医学」とワンセットで学んでいただきたい科目です。

調理学実習Ⅰ・Ⅱ

学んだ理論を実習で体得していく

調理学では理論を勉強し、それを実際に体得するための実習です。調理学実習Ⅰでは操作論の基礎を、調理学実習Ⅱでは応用として和洋中の供応食を学びます。日本女子大学では、1901年の開校当初から実習教育を重視し、調理学実習を行ってきました。その伝統・文化を引き継いだ高度な調理を、現在の科学的理論の裏づけも含めた講義を交え、実演をします。その後、各グループに分かれ、個別に実習を行うことにより調理学を完結させます。

栄養学Ⅰ

実際の食生活に直結した栄養学を

栄養の概念、食物の果たす役割を考え、食物から供給される各栄養素、すなわち炭水化物、脂質、たんぱく質、ミネラル、ビタミン及び水について体内での機能を理解します。これらの栄養素は、生体の構成成分として代謝（利用）され異化されていきます。私たちの周囲にある食べ物を栄養学的見地からながめ、食べ物が健康維持・増進のために、いかに重要であるかを、実際の食生活に結びつけて把握し、栄養学の意義や使命を追究します。



フーズスペシャリストについて

食物学科では、2017年度からフーズスペシャリスト養成カリキュラムを開始しました。フーズスペシャリストとは、食に関する総合的・包括的な知識をもち、食品の製造、流通、消費という食品産業全体で活躍できる職業です。公益社団法人日本フーズスペシャリスト協会が認定する資格です。

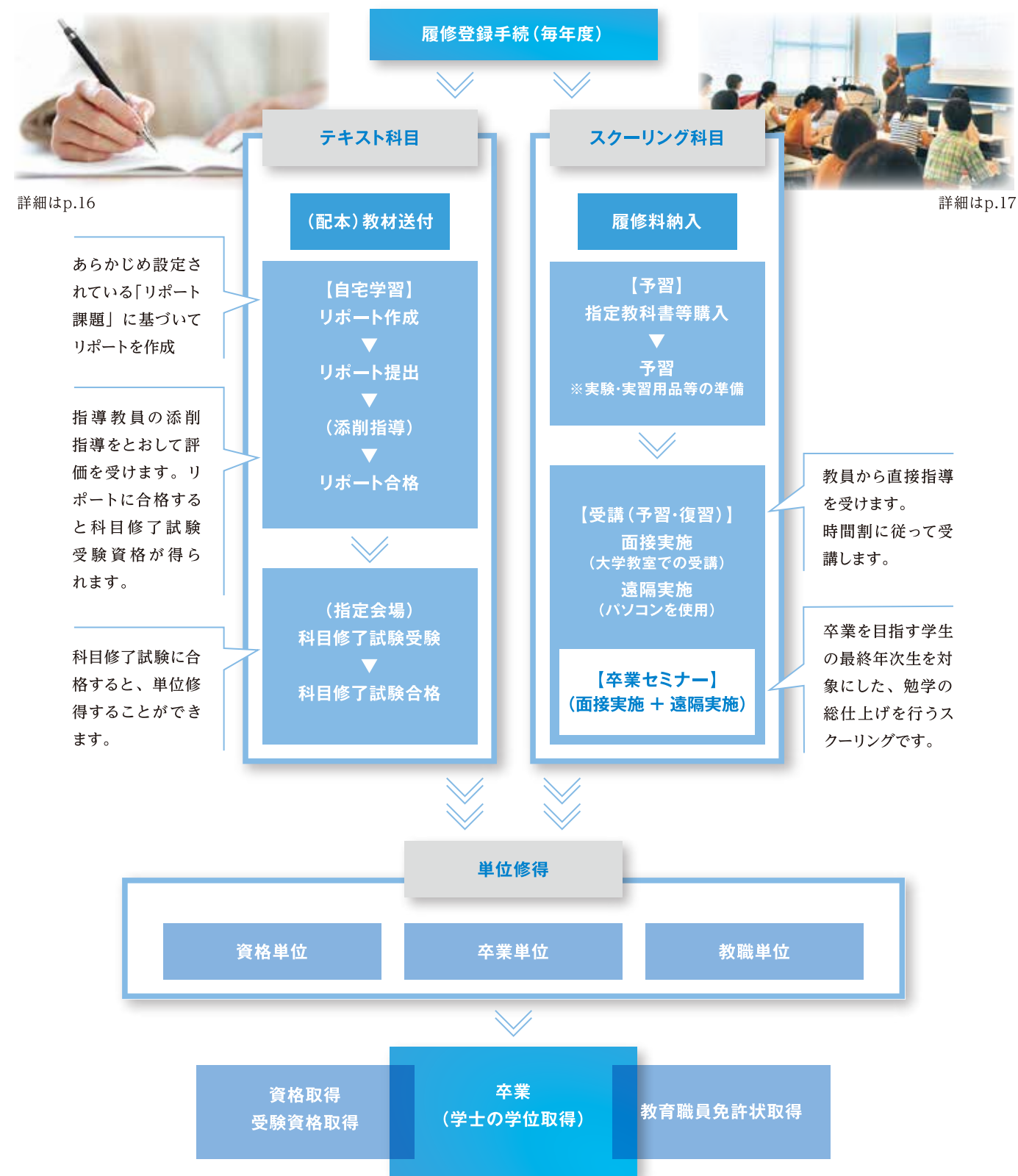
仕事の内容には、商品開発、品質管理、広報活動、消費者

対策、販売促進、メニュー開発、食空間のコーディネートなどがあります。また、消費者に対して健康で快適な食生活を提案する食育活動も行います。

フーズスペシャリストの必修科目は、食物学科の必修科目の一部に5科目を加えた19科目になっています。通信教育課程では本学でのみ取得可能で、協会が実施している認定試験に、2019～2022年度は受験者全員が合格しています。

学習の流れ

テキストを中心に学習に励み、スクーリングで直接指導を受け、科目修了試験等をクリアしながら単位修得を目指す通信教育課程。道のりは決して平坦ではありませんが、その過程はなにものにも代えがたい学ぶ喜びがあり、充実感があります。そして、ゴールには学士の学位と資格取得があなたを待っています。



学習活動とICT（情報通信技術）

学習活動や各種手続きには、パソコン・インターネットを使用します。ICT環境、スキルや知識を有していることを前提に学習活動が進みますので、不慣れな場合には事前に書籍での学習やパソコン教室に通うなど、入学前に各自でスキルアップしておく必要があります。不備や不足がある場合には、ご自身だけでなく授業進行の妨げとなってしまいますので、必ず事前に準備してください。

【パソコン等ICT機器】

- パソコン本体：オンライン会議システムとOffice製品の同時利用が可能なスペック（オペレーティングシステムはWindowsを推奨）
- 周辺機器：オンライン会議用のマイク、カメラ（内蔵可）、イヤホン、プリンター
- インターネット環境：リアルタイム配信を途切れずに視聴できる安定したインターネット環境



【ICTスキル・知識】

- ・パソコンを利用するための基本的用語の理解
- ・インターネットでの用語検索操作、ブラウジング操作
- ・E-mailの送受信操作
- ・Office製品（Word, Excel, Powerpoint等）の基本操作
- ・インターネット上で提供される手順書等を読解し、自身で実践できる能力

【学習環境】

- ・パソコンを使って遠隔授業を受講する際には静穏な環境が必要不可欠です。同居する方々とよく相談し、場合によっては自宅外の貸しスペース等を利用することも検討してください。

●学習に使用するICTサービス

1. 在学生ポータルサイト
学習活動や学生生活に必要な情報を掲載しています。履修科目登録や科目修了試験の受験申込手続きを始めとして、各種申請書や大学発行の(「履修の手引」『女子大通信』)の電子資料等を掲載しています。
2. Web学習管理システム
インターネットを利用した遠隔スクーリング科目の受講やテキスト科目のレポート提出などに使用します。
3. E-mail、Officeアカウントの提供
在学期間中、E-mailアドレス及びOffice製品（Word、Excel、Powerpoint等）の利用権限を提供しています。

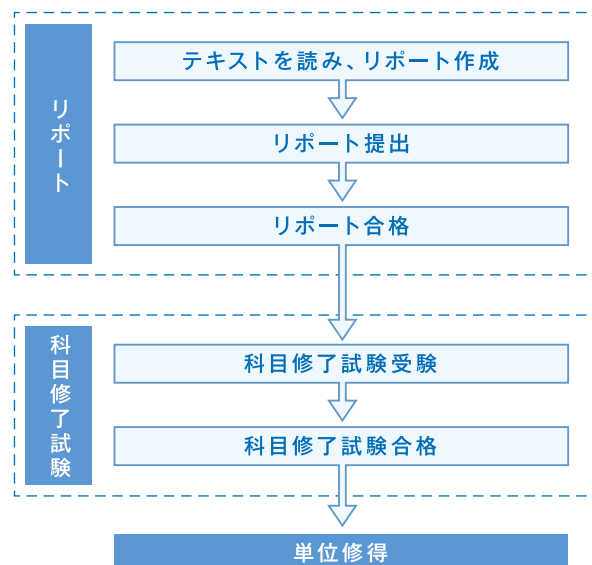
●スクーリング科目とICT

- スクーリング科目は面接実施だけでなく一部の科目は「遠隔」で実施します。
- 遠隔授業は3つのタイプに分けられますが、いずれもパソコン操作が必要です。
- 同時双方向型タイプ: ZoomやTeamsなどを使用したリアルタイム配信に参加して受講します。科目によってはディスカッションやグループワークも行います。
 - 動画配信型タイプ: アップロードされた動画・資料などの電子資料を所定の授業時間内に視聴します。毎回の授業で小テストやレポートなどをオンラインで提出し、理解度を確認します。時間内であればご自身のペースで繰り返し動画などを見ることができます。
 - オンデマンド型タイプ: アップロードされた動画・資料などの電子資料を所定の期間内に視聴し、個々の科目で設定される期間内に小テストやレポートなど課題をオンラインで提出します。所定の期間内であれば自由な時間に繰り返し動画などを見ることができます。

テキスト学習

【テキストを読んで自分で勉強する】

通信教育課程を卒業するために必要な単位数は124単位、そのうち多くの単位をテキスト学習で修得します。単位修得のためには、まずテキストで学習し、レポートを提出します。レポートの添削・評価を受けて合格すると、次に科目修了試験が受験できます。そして、科目修了試験に合格すれば、所定の単位を修得することができます。教職免許状を取得する場合も、テキスト学習が主になります。



テキスト

テキストは大学の教員が通信教育課程に適した内容となるよう執筆したテキストと、市販図書に大学教員による「学習の手引」を付したものがあります。

レポート

テキストによる学習でしっかり学び、与えられた課題に基づきレポートを作成・提出します。原則として1単位につき1課題のレポートが課せられ、1課題2,000字程度にまとめます。科目の内容にもよりますが、多くは論述形式です。

科目修了試験

科目修了試験は年5回、5月・7月・9月・11月・1月の定められた日曜日に全国44か所(下表参照)で実施され、1日に最大4科目を受験できます。

※入学初年度は、入学出願時期によって受験できる回数が異なります。(p.47参照)

北海道(札幌)	秋田県	東京都 (目白キャンパス)	岐阜県	和歌山県	愛媛県	鹿児島県
北海道(函館)	山形県	神奈川県 (西生田キャンパス)	静岡県	鳥取県	高知県	沖縄県
北海道(旭川)	福島県	新潟県	愛知県	岡山県	福岡県	
北海道(釧路)	茨城県	富山県	三重県	広島県	長崎県	
青森県	栃木県	石川県	京都府	山口県	熊本県	
岩手県	群馬県	長野県(岡谷)	大阪府	徳島県	大分県	
宮城県	千葉県	長野県(長野)	兵庫県	香川県	宮崎県	

「女子大通信」(補助教材)

毎月1日頃に届く月刊誌です。通信教育課程の「学生向け掲示板」として、月間予定、重要なお知らせ、最新情報、学習支援・指導、諸連絡など学習を円滑に進めるための必要な情報を発信しています。

「剽窃(ひょうせつ)」の禁止

「剽窃」とは、テキスト・参考書等の書籍や論文・ウェブサイト等から文章などを抜き出し、その出典を明示しないまま自分の文章として利用(コピー&ペースト)することを言います。学問のルールに反した、他人の著作権を侵害する「犯罪行為」ですので、レポート作成時など剽窃とならないよう注意が必要です。

スクーリング

テキスト学習ではできない実習・実技・語学などは、スクーリングを中心にを行います。教員から直接指導を受けながら学ぶことができるので、いっそう理解が深まります。また、担当教員のほか、様々な教員や友人とも知り合うことができ、その交流を通じて、さらに学ぶ意欲が刺激されます。

スクーリングの授業時間と単位

卒業に必要な124単位のうち、30単位以上(1年次入学の場合)をスクーリングで修得する必要があります。

1. 講義・演習 30時間の授業をもって2単位とする。
2. 実験・実習・実技 30時間の授業をもって1単位とする。

① 夏期スクーリング

夏期スクーリングは年度によりますが、例年8月上旬から8月下旬(日曜日を除く)の約1か月間、本学で1期(週)6日間(一部3日間の科目あり)、計4期にわたり行われます。長期間の出席が難しい場合は、1科目だけの受講もちろん可能です。

② 土曜スクーリング

集中授業形式よりも間隔をあけた方が学習効果があがる科目を開講しています。ただし、開講授業科目数は限られていますので(前期・後期あわせて20科目程度)、土曜スクーリングだけでは卒業に必要なスクーリング単位数を充足することはできません。

③ 集中スクーリング

一部の科目について、2～3日間の短期集中授業形式の集中スクーリングを開講します。

④ エニタイムスクーリング

受講日時が決まっている従来のスクーリングとは異なり、所定期間内(6週間程度)は比較的自由に受講できます。

⑤ 夜間スクーリング

前期又は後期の月～金曜日の同一曜日に週1回90分(18:30～20:00)の授業を目白キャンパスで行います。
※2024年度は開講しません。

⑥ 通学科目スクーリング

平日の昼間に通学可能な学生が、通学課程の一部の授業を受講することができます。受講できる学生は所定の単位を修得済みの3年次以上の正科生であり、所属学科の成績審査に合格した学生です。
(ただし、修得単位は教育職員免許状の申請には使用できません。)

- 大学に通学する「面接」での実施に加え、一部自宅等からインターネットを使用し「遠隔」で実施する科目もあります。ただし、遠隔授業の場合も原則として授業の受講時間は予め定められています(エニタイムスクーリングを除く)。インターネット環境を準備してください。パソコン、ヘッドセット(イヤホン、マイク)、カメラ(パソコン内蔵でも可)は必須です。パソコン操作やネット活用など最低限のスキルも必要です。(p.15参照)
- 教室の収容人数、実習機材の個数、円滑な授業実施などの理由により、予め受講人数が定められている科目があります。受講希望者が多数の場合は人数調整となり、受講を希望しても受講できない場合があります。
- 時間割上、やむを得ず科目の開講日程の重複が生じます。受講希望科目が重複した場合は、いずれか1科目しか受講できません。
- スクーリングは、最短の日数で単位を取得できるようにしています。設定された授業時間数を受講しなければ時間数が不足します。原則として、欠席・遅刻・早退は認められません。



児童学科の3方針

1 ディプロマ・ポリシー（学位授与に関わる方針）

児童学科では、「心理」「教育」「健康」「文化」「社会」の5分野からなる児童学の先端的な専門的知識に基づき、18歳未満の子どもを生活者として多角的に理解し、国際社会の一員として子どもと共に文化を継承・創造することのできる人材の育成を目指す。児童学科における学修の成果として、以下の能力を修得することをディプロマ・ポリシーとする。

- 児童学科DP1：児童学の先端的な研究方法や「心理」「教育」「健康」「文化」「社会」の5分野の専門的知識を身につけ、子どもについて多角的に理解することができる。
- 児童学科DP2：子どもに関する現代的課題や社会的ニーズを把握し、子どもや子どもを取り巻く環境を的確に分析することができる。
- 児童学科DP3：家庭や地域における生活者としての子どもの育ちや環境をよりよくする目標達成のために、多職種の専門職と協働するための基礎力を身につけることができる。
- 児童学科DP4：子どもの最善の利益を考えながら、子どもに関する課題の解決のために主体的に行動することができる。

2 カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）

【教育課程・教育方法】

児童学科では、ディプロマ・ポリシーに掲げる能力を系統的に習得させるために、以下のカリキュラム・ポリシーに則り、「児童学専門科目」「共通科目」「関連科目」からカリキュラムを編成する。また、資格取得に必要な専門科目を置く。

- 児童学専門科目：児童学の専門必修科目として、「発達に関わる専門科目」「教育に関わる専門科目」「健康に関わる専門科目」「文化に関わる専門科目」「社会に関わる専門科目」の5分野に関する専門科目群を置く。
- 共通科目：児童学に共通科目として、「児童学研究法」「児童学特講」「児童学演習」などを置く。
- 関連科目：児童学に関連する科目群を置く。
- 資格科目：幼稚園教諭一種免許状資格取得、学校図書館司書教諭のための科目群を置く。また、「芸術・子ども支援プログラム」「認定絵本土」に関する授業科目群を置く。

【学修成果達成のための科目】

- 児童学科DP1：児童学専門科目 共通科目
- 児童学科DP2：児童学専門科目 共通科目
- 児童学科DP3：児童学専門科目 共通科目 関連科目 資格科目
- 児童学科DP4：児童学専門科目 共通科目 関連科目 資格科目

3 アドミッション・ポリシー（入学者受入方針） P.01 を参照

食物学科の3方針

1 ディプロマ・ポリシー（学位授与に関わる方針）

【教育目標・方針】

食に関する基礎科学のおよび専門的知識、技術を身につけ、食品関係の企業や教育の場や地域社会において貢献できる人材を育成する。食品学、調理学、栄養学に関する包括的な知識を身につけることができる。

- 食物学科DP1：食品、調理、栄養を中心とした食と生活に関わる諸科学を広く学び、科学的知識・専門的技術を修得できる。
- 食物学科DP2：学修した食品、調理、栄養に関する科学的知識・専門的技術を用い、食に関する問題解決に応用することができる。
- 食物学科DP3：食品、調理、栄養の視点から食物を総合的に理解するスペシャリストとして、他者と協働して様々な問題に取り組む姿勢が身につく。
- 食物学科DP4：生活や社会といった観点から食に関する様々な課題を見つけ、正しい科学的知識に基づいて解決方法を論理的に洞察し、プレゼンテーションすることができる。
- 食物学科DP5：生活や社会に及ぼす食の影響や効果を生涯学び続け、食に関する様々な問題の解決に努めようとする積極的な姿勢が身につく。
- 食物学科DP6：人々の健全な食生活の推進と健康の維持増進のために社会に貢献し、食に関する諸問題に地球環境・SDGsを考えてグローバルな視点から取り組む態度が身につく。

2 カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）

【教育課程・教育方法】

食物学科では、「生活者」の視点から食を科学するのに必要な内容として、主に1年次に自然科学系基礎科目群および導入的内容の専門科目群(基礎・導入科目)、2年～3年次に発展的内容の専門科目というカリキュラム構成になっている。基幹となる専門科目群は「食品学系」「調理学系」「栄養学系」に大別され、それぞれテキスト科目、実験実習の順に開講されており、理論を実際の作業で確認できるように配置されている。Learning Management System: manabaやTeamsを積極的に活用し、テキスト科目、演習科目、実験・実習科目において、積極的にアクティブ・ラーニングが用いられ、いずれの科目においても論理的思考力、コミュニケーションスキルやプレゼンテーション力が身につく。

- 「基礎科学系」および導入的内容の専門科目：専門科目の理解に必要な「化学」、「生物学」に関する発展的な内容を学ぶテキスト科目、スクーリングでの講義科目、実験科目を置く。
- 「食品学系」：基幹となる専門科目群の一つ。様々な食品の成分とそれらの機能性・食品の加工貯蔵・食品衛生を学ぶテキスト科目、スクーリングでの講義科目、スクーリングでの実験科目を置く。
- 「調理学系」：基幹となる専門科目群の一つ。高度な調理技術、調理加工食品の「物性」や「おいしさ」に対する解析能力・評価方法を学ぶテキスト科目とスクーリングでの実験・実習科目を置く。
- 「栄養学系」：基幹となる専門科目群の一つ。健康な食生活を通した生涯の健康の保持・増進を学ぶテキスト科目とスクーリングでの実験・実習科目を置く。
- 「卒業論文」：4年間の学修の集大成として、卒業研究を希望する学生のために、選択科目として卒業論文を配置する。

専門科目に加え、教職課程の履修により、家庭科の中学校・高等学校教諭一種免許が取得可能である。また、フードスペシャリスト関連科目の履修により、フードスペシャリスト、専門フードスペシャリスト資格を取得することができる。

【学修成果達成のための科目】

- 食物学科DP1：「基礎科学系」「食品学系」「調理学系」「栄養学系」
- 食物学科DP2：「基礎科学系」「食品学系」「調理学系」「栄養学系」「卒業研究」
- 食物学科DP3：「基礎科学系」「食品学系」「調理学系」「栄養学系」
- 食物学科DP4：「基礎科学系」「食品学系」「調理学系」「栄養学系」
- 食物学科DP5：「基礎科学系」「食品学系」「調理学系」「栄養学系」「卒業研究」
- 食物学科DP6：「基礎科学系」「食品学系」「調理学系」「栄養学系」

3 アドミッション・ポリシー（入学者受入方針） P.01 を参照

カリキュラム

カリキュラムについて

卒業のための単位要件

1. 卒業するために修得すべき最低単位数

	基礎科目			教養科目	学部共通科目	学科科目		卒業セミナー	自由選択科目	総単位数
	外国語	情報処理	身体運動			必修	選択			
児童学科	8	2	2	24	6	18	52	2	10	124
食物学科	8	2	2	24	6	42	28	2	10	124

2. 修業年限・在学し得る年数/卒業に必要なスクーリング単位数

入学年次	修業年限 (在学すべき年数)	在学し得る年数	入学年次	卒業に必要な単位数のうち、 修得が必要なスクーリング単位数
1年次入学	4年	10年	1年次入学	30単位以上
2年次編入学	3年	8年	2年次編入学	23単位以上
3年次編入学	2年	6年	3年次編入学	15単位以上
3年次学士入学	2年	6年	3年次学士入学	15単位以上

※修業年限どおりに卒業できる学生は少なく、多くの学生が修業年限に加え、さらに2～4年程度の年数を卒業に要しています。(p.57参照)

入学時の単位認定

入学時単位認定には、

- 卒業に必要な単位の認定
- 教職免許状取得に必要な単位の認定 の2種類があります。

【1. 卒業に必要な単位の認定】

①既修得単位認定

- ・本学に入学する前に他大学・短期大学等で単位を修得(30単位未満)している1年次入学者が対象です。
- ・「成績証明書」に基づき、本学開講科目の内容と合致するなどの場合に限り、本学開講科目に置き換えて個別認定します。
- ・最大2校、29単位を上限に認定します。基礎科目、教養科目、学部共通科目、学科科目のみ認定可能です。
- ・認定状況は個々に異なります。入学許可前に認定可能な科目名や単位数をお答えすることはできません。

②一律認定

- ・編入学者、学士入学者が対象です。
- ・科目群ごとに決まっている単位数を、具体的な科目を決めずに単位数分をまとめて認定します。
- ・出身学科や成績評価、学習目的にかかわらず、p.21の表のとおり、対象者全員に同じ単位数分を認定します。
- ・大学を中途退学した編入学者は、前大学での修得単位数によって一律認定単位数が個々に異なります。
- ・学士入学者は、基礎科目、教養科目の履修義務がありませんので一律認定しません。

③個別認定

- ・編入学者が対象です。
- ・「成績証明書」に基づき、本学「情報処理」科目と内容が合致する場合に限り、短期大学等で修得した「情報処理」単位を「情報処理演習」2単位又は「情報科学」2単位に個別認定します。
- ※本学に在籍し単位修得した場合、学科必修科目が認定される場合があります。

【2. 教職に必要な単位の認定】

教職免許状取得希望者のうち、「5条別表第1」で免許状を取得する入学者が対象です(上級免許状、隣接校、他教科は単位認定不可)。「成績証明書」、「学力に関する証明書」、法律、本学規定を基に、本学開講科目に置き換えて個別認定します。出身大学等のカリキュラムや教職課程認可の状況、「学力に関する証明書」記載内容により、認定可能科目や単位数は個々に異なります。入学許可前に認定可能な科目名や単位数をお答えすることはできません。

(学科別)卒業に必要な単位の認定

児童学科		卒業要件（卒業に必要な単位数）											
		基礎科目			教養科目	学部 共通 科目	学科科目		卒業 セミナー	自由 選択 科目	計		
		外国語	情報 処理	身体 運動			必修	選択					
入学区分	対象		8	2	2	24	6	18	52	2	10	124	
2年次 編入学	大学中退	一律認定	4	—	2	※12～24	2	0	※0～10	0	10	※30～52	最大 54まで
		個別認定	—	*2	—	—	—	—	—	—	—	*2	
		卒業に必要な単位数	#4	*0～2	0	※0～12	4	18	※42～52	2	0	※*94～70	
3年次 編入学	大学中退 ・ 短大卒業	一律認定	4	—	2	24	2	0	18	0	10	60	最大 62まで
		個別認定	—	*2	—	—	—	—	—	—	—	*2	
		卒業に必要な単位数	#4	*0～2	0	0	4	18	34	2	0	※*64～62	
3年次 学士入学	大学卒業	一律認定	履修を課さない				2	0	24	0	10	36	36
		個別認定					—	—	—	—	—	0	
		卒業に必要な単位数					4	18	28	2	0	52	

食物学科		卒業要件（卒業に必要な単位数）											
		基礎科目			教養科目	学部 共通 科目	学科科目		卒業 セミナー	自由 選択 科目	計		
		外国語	情報 処理	身体 運動			必修	選択					
入学区分	対象		8	2	2	24	6	42	28	2	10	124	
2年次 編入学	大学中退	一律認定	4	—	2	※12～24	2	0	※0～10	0	10	※30～52	最大 54まで
		個別認定	—	*2	—	—	—	—	—	—	—	*2	
		卒業に必要な単位数	#4	*0～2	0	※0～12	4	42	※18～28	2	0	※*94～70	
	短大卒業	一律認定	4	—	2	24	2	0	10	0	10	52	最大 54まで
		個別認定	—	*2	—	—	—	—	—	—	—	*2	
卒業に必要な単位数		#4	*0～2	0	0	4	42	18	2	0	※*72～70		
3年次 学士入学	大学卒業	一律認定	履修を課さない				2	0	24	0	10	36	36
		個別認定					—	—	—	—	—	0	
		卒業に必要な単位数					4	42	4	2	0	52	

#修得すべき単位数の内訳:「英語Ⅱ」2単位、「外国語(選択必修)」2単位の2科目計4単位。

*前頁の「③個別認定」を参照。認定の結果によって、卒業に必要な単位数も変動します。

※前頁の「②一律認定」を参照。前大学等での修得単位数により、「教養科目」「学科科目(選択)」の一律認定単位数が変動します。

その結果、卒業に必要な単位数も変動します。一律認定と個別認定を合わせ最大54単位まで認定が可能です。

例1)修得単位数46単位の場合 → 「教養科目」24単位、「学科科目(選択)」4単位が認定可能

例2)修得単位数46単位(「情報処理」も認定可能)の場合 → 「情報処理」2単位、「教養科目」24単位、「学科科目(選択)」2単位が認定可能

入学後の単位認定

【技能審査等の合格による単位認定】

入学前(後)に語学審査試験(実用英語技能検定、TOEFL-iBT、TOEICなど)に合格(取得)した点数により、本学規定に基づき卒業に必要な語学単位の一部を認定します。希望者は入学後に手続きをしてください。

各学科共通科目

(※2023年度参考)
※2024年度の開講科目は入学後に確認のこと

基礎科目／教養科目／学部共通科目

T：テキスト科目 S：スクーリング科目 F：T・S 両方開講 ★隔年開講

科目名			単位	開講年次	履修方法	卒業に必要な単位	
基礎科目	外国語	英語ⅠA	2	1	F	必修6単位	12単位
		英語ⅠB	2	1	F		
		英語Ⅱ	2	2	F		
		英語コミュニケーション	2	1	S	選択必修2単位	
		ドイツ語	2	1	S		
		ドイツ語会話	2	1	S		
		フランス語	2	1	S		
		フランス語会話	2	1	S		
		中国語	2	1	S		
		中国語会話	2	1	S		
		韓国語	2	1	S		
	韓国語会話	2	1	S			
	情報処理	情報処理演習	2	1	S	選択必修2単位	
		情報科学	2	1	T		
身体運動	身体運動実習	1	1	S	必修2単位		
	身体運動論	1	1	T			

教養科目	A 多様な社会と人間の尊厳	心と健康	★	2	1	S	24単位 (A～Cの系列)
		政治学		2	1	T	
		経済学入門	★	2	1	S	
		日本国憲法		2	1	F	
		ジェンダー論	★	2	1	S	
		社会福祉学	★	2	1	S	
		地域研究	★	2	1	S	
		社会と文化	★	2	1	S	
	B 自然の摂理の探究	心理学	★	2	1	S	
		数学		2	1	T	
		統計学	★	2	1	S	
		物理学が拓いた世界	★	2	1	S	
		生命の科学		2	1	T	
		化学の世界		2	1	T	
		人間生理学		2	1	T	
	C 知性と文化の系譜	哲学	★	2	1	S	
		歴史学		2	1	T	
		宗教とは何か		2	1	T	
		文学		2	1	T	
		言語と情報		2	1	T	
		英語圏の文化	★	2	1	S	
		音楽の歴史	★	2	1	S	
		美術の歴史	★	2	1	S	

学部共通科目	家政学概論	2	1	T	選択必修 6単位	6単位
	生活と児童	2	1	T		
	生活と食物	2	1	T		
	生活と被服	2	1	T		
	生活と住居	2	1	T		
	生活と経済	2	1	T		
	商品・サービス等の品質と安全性	2	2	T		
基礎科目・教養科目・学部共通科目 小計		42単位				

●2年次編入学者、3年次編入学者、3年次学士入学者は、入学時単位認定により卒業するために修得すべき基礎科目などの単位数が軽減されます。
単位認定の詳細は、p. 20、21を参照してください。

児童学科科目

(※2023年度参考)
※2024年度の開講科目は入学後に確認のこと

T：テキスト科目 S：スクーリング科目 F：T・S 両方開講 芸：芸術・子ども支援プログラム科目 絵：認定絵本士指定科目 ★隔年開講

科目名 (太字の科目は他学科生の履修は不可)			単位	開講年次	履修方法	卒業に必要な単位	
学科科目	発達心理学 1	芸	2	1	T	必修18単位	必修・選択を合わせて70単位
	発達心理学 2	芸	2	1	T		
	小児保健学 1		2	1	T		
	児童福祉		2	1	T		
	幼児教育方法論	芸	2	2	T		
	保育・教育課程論		2	2	T		
	小児栄養学		2	2	T		
	児童文学	芸	2	2	F		
	児童学研究法		2	3	S		
	児童文化論	★ 芸	2	1	S	選択52単位	
	子どもと環境教育	★	2	1	S		
	青年心理学		2	2	F		
	人格発達論	★ 芸	2	2	S		
	音楽表現		1	2	S		
	子どもと表現		1	2	S		
	身体クリエイティブ表現	芸	1	1	S		
	音楽療法的アプローチ	芸	1	1	S		
	小児保健学 2（精神保健を含む）		2	2	S		
	母性保健		2	2	T		
	子どもと造形 1	芸	2	2	S		
	子どもと造形 2		3	2	T		
	幼年文学	★ 芸	2	2	S		
	家族心理学	★	2	2	S		
	児童虐待の構造と支援	★	2	2	S		
	子どもと健康・運動		2	2	S		
	児童学特講		2	3	S		
	児童学演習	★	2	3	S		
	表現アートセラピー基礎	芸	2	1	T		
	表現アートセラピー1	芸	2	1	S		
	表現アートセラピー2	芸	2	2	S		
	応用表現アートセラピー	芸	2	2	S		
	基礎カウンセリング1	芸	1	1	T		
	基礎カウンセリング2	芸	1	2	S		
	分析的アートセラピー（描画）	芸	1	2	S		
	児童臨床心理学	★ 芸	2	3	S		
	発達臨床支援	★	2	2	S		
	保育内容総論		2	3	S		
	乳幼児教育論	芸	2	2	T		
	子どもとマルチメディア	絵	2	3	S		
	子どもと造形 3	芸	2	3	S		
	児童文学特論	★	2	3	S		
	子どもと絵本	絵	2	3	S		
	絵本学概論	絵	2	3	S		
	算数		2	3	T		
生活		2	3	S			
子どもと人間関係		2	2	T			
子どもと環境		2	2	T			
子どもと言葉		2	2	T			
卒業論文		6	4	S			
	卒業セミナー		2	4	S	必修2単位	2単位
自由選択科目	①基礎科目の外国語のうち、必修8単位を超えて修得した単位 ②教養科目のうち、選択必修24単位を超えて修得した単位 ③学部共通科目のうち、選択必修6単位を超えて修得した単位（ただし、学科科目の卒業に必要な選択単位に充当した単位は除く）④学科科目の卒業に必要な選択単位を超えて修得した単位 を自由選択に充当できます。					選択10単位	10単位
学科科目・卒業セミナー・自由選択科目 小計						82単位	
児童学科 合計						124単位	

●2年次編入学者、3年次編入学者、3年次学士入学者は、入学時単位認定により卒業するために修得すべき学科科目や自由選択科目の単位数が軽減されます。単位認定の詳細は、p. 20、21を参照してください。

食物学科科目

(※2023年度参考)
※2024年度の開講科目は入学後に確認のこと

T：テキスト科目 S：スクーリング科目 F：T・S両方開講
フ：フードスペシャリスト必修科目
★隔年開講

科目名 (太字の科目は他学科生の履修は不可)		単位	開講年次	履修方法	卒業に必要な単位		
学科科目	基礎化学Ⅰ	2	1	F	選択必修 4単位を含み 必修42単位	必修・選択を合わせて70単位	
	生理学Ⅰ	2	1	F			
	食生活と環境	フ	2	T			
	調理学	フ	2	F			
	生化学Ⅰ	2	1	F			
	栄養学Ⅰ	フ	2	1			T
	食品・栄養学基礎実験Ⅰ	フ	1	2			S
	食品・栄養学基礎実験Ⅱ		1	2			S
	微生物学	2	2	F			
	食品学	フ	2	2			T
	食品化学	フ	2	2			T
	食品機能学	フ	2	2			F
	調理科学	フ	2	2			T
	調理学実習Ⅰ	フ	1	2			S
	栄養学Ⅱ	2	2	T			
	健康と栄養学Ⅰ	フ	2	2			T
	健康と栄養学Ⅱ	フ	2	2			T
	社会・環境と健康	2	2	T			
	食品加工及び貯蔵学Ⅰ	フ	2	3			T
	食品衛生学Ⅰ	フ	2	3			T
	調理学実習Ⅱ	フ	1	3			S
	生化学Ⅱ		2	1			T
	基礎化学Ⅱ	選択必修2単位	2	2			T
	基礎分析学		2	2			T
	微生物学実験		1	3			S
	食品学実験		1	3			S
	調理科学実験	フ	1	3			S
	基礎栄養学実習	選択必修2単位	1	3			S
	応用栄養学実習		1	3			S
	臨床栄養学実験	★	1	3			S
	生理学Ⅱ		2	2			T
	臨床栄養学Ⅰ		2	2			T
	食糧経済	フ	2	2			T
家庭看護学		2	2	T			
病理学		2	2	T			
運動生理学		2	2	T			
学校保健Ⅰ		2	2	T			
学校保健Ⅱ		2	2	T			
食品安全論		2	2	S			
食物学特講Ⅱ		2	2	S			
地域食支援論		2	2	S			
食品加工及び貯蔵学Ⅱ	フ	2	3	T			
食品衛生学Ⅱ		2	3	T			
フードコーディネート論	フ	2	3	T			
フードスペシャリスト論	フ	2	1	T			
臨床栄養学Ⅱ		2	3	T			
食教育論	★	2	3	S			
健康科学と予防医学		2	3	T			
解剖生理学		2	3	T			
卒業論文		4	4	S			
卒業セミナー		2	4	S			
自由選択科目	①基礎科目の外国語のうち、必修8単位を超えて修得した単位 ②教養科目のうち、選択必修24単位を超えて修得した単位 ③学部共通科目のうち、選択必修6単位を超えて修得した単位(ただし、学科科目の卒業に必要な選択単位に充当した単位は除く) ④学科科目の卒業に必要な選択単位を超えて修得した単位 を自由選択に充当できます。				必修2単位	2単位	
					選択10単位	10単位	
学科科目・卒業セミナー・自由選択科目 小計					82単位		
食物学科 合計					124単位		

●2年次編入学者、3年次学士入学者は、入学時単位認定により卒業するために修得すべき学科科目や自由選択科目の単位数が軽減されます。単位認定の詳細は、p. 20、21を参照してください。
●履修の順番が決まっている科目があります(段階履修)。詳細は、入学後に確認してください。

特別聴講学生制度

放送大学特別聴講学生制度

放送大学との単位互換協定により、「特別聴講学生」として単位互換科目を学び、放送大学で修得した単位数のうち2分の1をスクーリング単位として充てることが可能です(ただし、修得単位は教育職員免許状の申請には使用できません)。
(4月入学生は入学年度の後期から、10月入学生は入学の翌年度前期から受講が可能です。)

入学年次	卒業所要単位として認定できる単位数の上限
1年次入学	20単位
2年次編入学	16単位
3年次編入学	12単位
3年次学士入学	12単位

※修得した1科目2単位のうち1単位をスクーリング科目とし、残りの1単位をテキスト単位として認定します。

- テレビ又はラジオ等で週1回45分ずつ放送される授業を15週(15回)受講し、レポート合格及び単位認定試験の合格により単位修得となります。
- 本課程在学中に修得した単位のうち、卒業所要単位として認定できる単位数の上限は表のとおりです。
- 必ず日本女子大学を通じて申し込む必要があります。履修費用が別途必要です。(1科目あたり12,000円を放送大学へ直接納付)
- 「特別聴講学生」は全国57か所のいずれかの放送大学学習センター・サテライトスペースに所属します。各学習センター・サテライトスペースでは、テープやDVDなどの視聴による学習ができ、また単位認定試験が行われるほか、備え付けの図書の閲覧や貸出などが利用できます。

学生支援

頑張るあなたを応援する様々なサポートシステム

【勤労学生の所得税控除】

年間所得が130万円以下(2023年度)の場合、所得税の勤労学生控除を受けることができます。

【鉄道運賃の割引(正科生のみ)】

スクーリング受講、科目修了試験受験やその他の学校行事などに参加するため、片道100kmを超える区間で電車(JR)を利用する場合は、鉄道運賃の割引(2割)を受けることができます。また、スクーリング期間中は、通学定期券購入のための通学証明書の発行も受けることができます。

【テキスト科目学習ガイダンス】

夏期スクーリング期間中の特定の日に、専任教員による「テキスト科目学習ガイダンス」を開催しています。担当の授業科目や、学科の授業科目についての学習指導を行います。

【郵送料は特別郵便料金を適用】

通信教育ではレポート・質問票の提出・返送などに対し、第四種郵便が適用され、郵便料金の負担は著しく軽減されます。

【奨学金】

学外奨学金として、スクーリング受講が困難な学生に日本学生支援機構奨学金が貸与されます。
また、卒業時に学業・人物ともに優秀な学生に対し、表彰のため学内記念賞及び学内奨学金を授与します。

【さくらナースリー】

夏期スクーリング受講のためにお子さんを連れてくる学生の便宜をはかるため、目白キャンパスにある学内保育所「さくらナースリー」に、受講の間、満3歳以上(4月1日現在)学齢未満の幼児を預けることができます。(2023年度費用1週間あたり42,000円(消費税別))
※2025年度以降は未定です。

【学習友の会】

通信教育は孤独な学習になりがちです。そこで学習会や情報交換会を開催して学生同士の交流や親睦を深め、学習意欲を高めるため、試験場所在地を中心に「学習友の会」を設けています。(2023年度は7か所)

活動例(東京学習友の会)

学習会と情報交換会を対面やオンラインで行います。
学習会では、テキスト科目担当の教員をお招きし、講義をしていただきます。教員から直接お話をうかがえる貴重な機会です。
情報交換会では、学生同士でレポートや試験などをテーマに話し合います。卒業生をお招きして経験談をうかがうこともあります。
学習友の会に入会することによって、共通の目的を持つ友人が増え、学習のモチベーションが上がります。
ご入学されたら、ぜひお近くの学習友の会にご入会ください。学生生活がもっと楽しくなることでしょう。

T: テキスト科目 S: スクリーニング科目

JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY | 29

中学校一種・高等学校一種「家庭」（※2023年度参考）
— 食物学科 — ※2024年度の開講科目は入学後に確認のこと

T: テキスト科目 S: スクリーニング科目

系列	科目名		単位	履修方法	単位数 中	単位数 高		
66条の6	日本国憲法		2	T	必修 8	必修 8		
	身体運動実習		1	S				
	身体運動論		1	T				
	英語コミュニケーション		2	S				
	情報処理演習		2	S				
	計				8単位	8単位		
教職課程	教育の基礎的理解に関する科目	教育学概論2	2	T	必修 11	必修 11		
		教職基礎論2	2	T				
		教育社会学2	2	T				
		教育心理学2	2	T				
		特別支援教育（中高）	1	T				
		教育課程論（中高）	2	T				
	道徳、総合的な学習の時間に関する科目	道徳教育の指導法（中）	2	T	必修 10	必修 8		
		特別活動・総合的な学習の時間の指導法（中高）	2	T				
		教育方法・技術2（情報通信技術の活用含む）	2	T				
		生徒指導・進路指導	2	S				
		学校カウンセリング基礎論2	2	T				
	科目に教育実習に関する実践科目	教育実習（中高）	5	S	必修 7	必修 5		
		教育実習（高）	3	S				
		教職実践演習（中高）	2	S				
	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	家庭管理概論	2	T	必修 33	必修 35	
			家族関係論	2	T			
			衣生活学概論	2	T			
			衣造形学	2	T			
			衣服実習	1	S			
			栄養学Ⅰ	2	T			
			栄養学Ⅱ	2	T			
			食品学	2	T			
			食品化学	2	T			
			食品加工及び貯蔵学Ⅰ	2	T			
			調理科学	2	T			
			調理学	2	T			
			調理学実習Ⅰ ※1	1	S			
			調理学実習Ⅱ ※1	1	S			
			住居学概論	2	T			
住生活学			2	T				
児童学概論			2	T				
家庭看護学			2	T				
家庭電気・機械及び情報処理			2	S				
衣整理学			2	T				
衣環境学		2	T					
食品加工及び貯蔵学Ⅱ		2	T					
教科の指導法		家庭科教育法Ⅰ	2	T	必修 8	必修 8		
		家庭科教育法Ⅱ	2	T				
	家庭科教育法Ⅲ	2	T					
	家庭科教育法Ⅳ ※2	2	S					
計				69単位	67単位			
合 計				77単位	75単位			

※1 「調理学実習Ⅰ・Ⅱ」は、「基礎化学Ⅰ（食物学科科目）」「調理学」修得後でなければ履修不可。

※2 「家庭科教育法Ⅳ」は、「家庭科教育法Ⅰ・Ⅱ」修得後でなければ履修不可。

その他の受講条件があり。入学後確認すること。

教育実習

教育実習は、教育職員免許法施行規則第6条の規定に基づき、教職を希望する方が大学で学んだ知識・理論を生かして、学校現場において実践的な知識・技能などを培うために定められている必修科目です。教育実習を受講するためには、教育実習事前・事後指導を含めて厳しい受講資格が課されていますので、受講希望者には相当の努力が要求されます。また、教育実習は実習校・園及び所轄の教育委員会の理解と協力があってはじめて可能となります。

○教職に就くという強い意志と自覚のもとで臨んでください。

○教育実習受講資格科目を全て修得してからでないで教育実習を受講することができません。

○教育実習は春期（4～6月）・秋期（10～12月）に実施し、決められた期日までに受講資格科目を修得しなければなりません。

○教師としての資質に欠けると判断された場合は、教育実習が不合格となることもあります。

○教育実習が不合格となった場合、同一校種・他校種にかかわらずあらためて本課程で教育実習を行うことはできません。

○原則として、教員採用試験の受験可能年齢までに受講することが望ましいです。

※受講条件を充たしていても実習先が見つからない場合は教育実習を受講できません。（教育実習受講の年齢制限はありませんが、20～30代で受講するのが一般的です。）

○Q&A (p.42 「教育職員免許状取得」について) も参照してください。

期間と単位

免許状の種類	単位	実習期間	備 考
幼稚園	5単位	4週間	5単位に事前・事後指導を含む
中学校	5単位	3又は4週間	
高等学校	3単位	2又は3週間	3単位に事前・事後指導を含む

実習校

幼稚園	本学附属豊明幼稚園または自主選定園※
中学校	自主選定校又は都立学校
高等学校	自主選定校又は都立学校

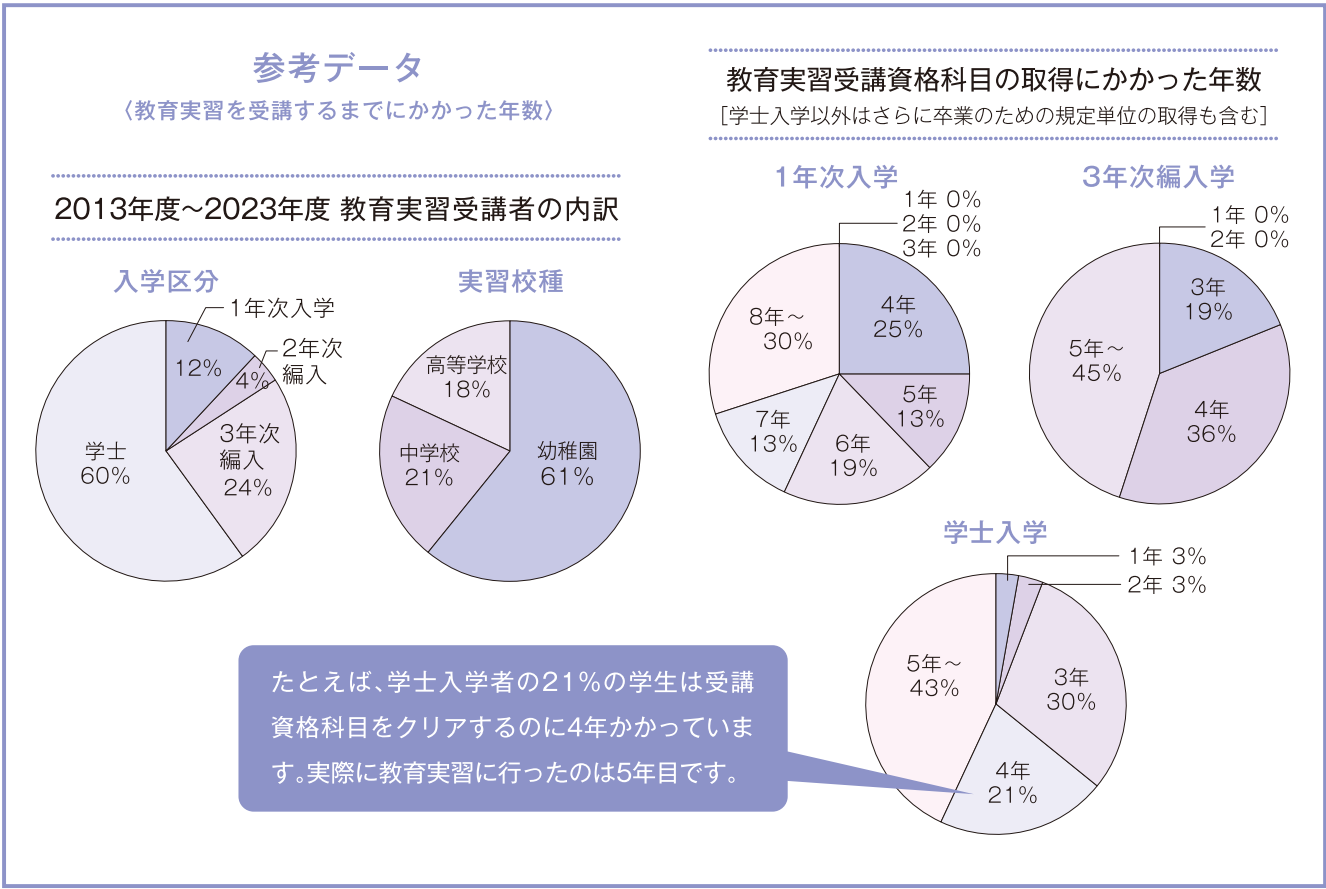
○中学校・高等学校の両方の教職免許状を取得する場合、5単位の教育実習が必要です。

○自主選定校・園とは、出身校や近隣の学校などを自ら選定し、実習校の内諾まで本人が行うものをいいます。

○都立学校とは、大学が一括して東京都教育委員会に申請し、審査の上、実習時期と実習校が決定されて実習を許可されるものです。必ずしも受け入れられるとは限りません。

○免許状を所有している場合、過去に受講した教育実習単位を流用したり、教職経験により他の科目単位に振り替えられることがあります。詳しくは各都道府県教育委員会に確認してください。

※幼稚園の自主選定園は、児童学科の審査に通った場合のみ。



教育職員免許状

介護等体験

新たに小学校又は中学校の教育職員免許状を、教育職員免許法5条別表1により取得する場合は、「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」及び「同法施行規則」により「介護等体験」を行うことが必要です。

●介護等体験とは

「義務教育に従事する教員が個人の尊厳及び社会連帯の理念に関する認識を深めることの重要性にかんがみ、教員としての資質向上を図り、義務教育の一層の充実を期する観点から、小学校又は中学校の教諭の普通免許状の授与を受けようとする者に、障害者、高齢者等に対する介護・介助、これらの者との交流等の体験を行わせる措置を講ずるため」(特例法第1条)、特別支援学校、社会福祉施設その他の施設において実施されるものです。

●期間・実施方法

大学から「各都道府県教育委員会」「各都道府県社会福祉協議会」へ申し込みます。体験期間は7日間(特別支援学校で2日間、社会福祉施設で5日間)です。

●介護等体験が不要な方

以下の教育職員免許状を教育職員免許法 5 条別表 1 により取得済みの方は、介護等体験は必要ありません。
(小学校教諭専修、小学校教諭一種、小学校教諭二種、中学校教諭専修、中学校教諭一種、中学校教諭二種)

- また、以下の項目に該当する方は、介護等体験が免除されます。
- ①専門的知識及び技術を有する方(以下の免許・資格を既に有している方)
保健師、助産師、看護師、准看護師、特別支援学校教員、理学療法士、作業療法士、社会福祉士、介護福祉士、義肢装具士
 - ②身体障害者手帳に、障害の程度が1級から6級であると記載されている方

所有する教育職員免許状をもとに他の教育職員免許状を取得

教育職員免許状は「一般的な取得方法(免許法5条別表1を根拠にする方法)」で取得することが一般的ですが、所有免許状がある場合、希望する免許状の種類や勤務経験によっては、免許法の別の条項を根拠に免許状を取得できる場合があります。

フローチャート (p.26・27)	取得方法	根拠となる免許法
ケース①-1	上級免許状の取得(取り残し単位の補完による取得)	5条別表1 免許法施行規則10条の2
ケース①-2	上級免許状の取得(在職年数を基礎とする取得)	6条別表3
ケース②	隣接校免許状の取得	6条別表8
ケース③	他教科免許状の取得	6条別表4

ケース①-1 上級免許状の取得(取り残し単位の補完による取得)免許法5条別表1 10条の2
二種免許状を一種免許状にするなど、有している上位の免許状を取得する方法です。二種免許状を所有している場合、基礎資格である**学士の学位を有していること、一種と二種の差の単位**を修得することにより、一種免許状を取得することができます。
一種と二種の差の単位(科目)は、免許状の授与権者である都道府県教育委員会が定めています。一種と二種の差の単位(科目)が本学のどの授業科目に相当するのかは、対照表(p.36・37)を参照し、免許状を申請する(居住地、勤務校の所在地のある)都道府県教育委員会で指導を受け、**ご自身の責任で**確認しておく必要があります。(教育委員会HPも参照)
※一種と二種の差の単位とは、一種免許状にかかる単位数のうち二種免許状にかかる単位数を既に修得したものとみなし、その不足する一種免許状の単位のこと。

ケース①-2 上級免許状の取得(在職年数を基礎とする取得)免許法6条別表3
所有している二種免許状での**最低在職年数(5年)**を基礎に、必要単位を修得し、一種免許状を取得する方法です。
必要単位(科目)は、免許状の授与権者である都道府県教育委員会が定めています。必要単位が何単位で本学のどの授業科目に相当するのかは、対照表(p.36・37)を参照し、免許状を申請する(居住地、勤務校の所在地のある)都道府県教育委員会で指導を受け、**ご自身の責任で**確認しておく必要があります。(教育委員会HPも参照)

受けようとする免許状の種類	所有資格 (教育職員免許法6条別表3)		
	既有免許状	最低在職年数	最低修得単位総計
幼稚園教諭一種免許状	二種免許状	5年	45
中学校教諭一種免許状	二種免許状	5年	45
高等学校教諭一種免許状	臨時免許状	5年	45

※最低在職年数とは、「既有免許状」により、これから「受けようとする免許状」の当該教科の教員として良好な成績で勤務した最低の年数をいいます。免許申請の際に実務証明責任者の証明を必要とします。
※最低在職年数を超える在職年数があるときは、年数に応じて最低修得単位が軽減されます。

ケース② 隣接校免許状の取得 免許法6条別表8
所有している免許状での**最低在職年数(3年)**を基礎に、必要単位を修得し、隣接校種の免許状を取得する方法です。
隣接校種とは、所有免許状の学校種が小学校ならその隣接校種は幼稚園・中学校であるように、隣り合っている学校種を指します。
必要単位(科目)は、免許状の授与権者である都道府県教育委員会が定めています。必要単位が何単位で本学のどの授業科目に相当するのかは、対照表(p.36・37)を参照し、免許状を申請する(居住地、勤務校の所在地のある)都道府県教育委員会で指導を受け、**ご自身の責任で**確認しておく必要があります。(教育委員会HPも参照)

受けようとする免許状の種類	所有資格 (教育職員免許法6条別表8)		
	既有免許状	最低在職年数	最低修得単位総計
幼稚園教諭二種免許状	小学校教諭普通免許状	3年	6
中学校教諭二種免許状	小学校教諭普通免許状	3年	14
	高等学校教諭普通免許状	3年	9
高等学校教諭一種免許状	中学校教諭普通免許状 (二種免許状を除く)	3年	12

※最低在職年数とは、「既有免許状」により当該学校の教諭または講師として良好な成績で勤務した最低の年数をいいます。免許申請の際に実務証明責任者の証明を必要とします。

ケース③他教科免許状の取得 免許法6条別表4

所有している中学校・高等学校の専修免許状・一種免許状(教科は問わない)を基礎に、必要単位を修得し、他教科である「家庭」の中学校一種・高等学校一種免許状を取得する方法です。必要単位に相当する本学開講科目を全て修得してください。
入学する学科・区分により、修得すべき科目・単位数が異なります。表をよく確認してください。

受けようとする 免許状の種類	所有資格 (免許法6条別表4)		
	既有免許状	大学において修得することを必要とする最低単位数	
		教科に関する専門的事項	教科の指導法に関する科目
中学校教諭一種免許状	中学校教諭の専修免許状または一種免許状	20	8 (教科教育法)
高等学校教諭一種免許状	高等学校教諭の専修免許状または一種免許状	20	4 (教科教育法)

T：テキスト科目 S：スクーリング科目
必：必修 選：選択 選必：選択必修

本学開講科目 (2023 年度参考)

中学校一種・高等学校一種「家庭」

【食物学科】(正科生)

系列	科目名	単位	履修方法	中1	高1
教科に関する専門的事項	家庭管理概論	2	T	必23	必25
	家族関係論	2	T		
	衣生活学概論	2	T		
	衣服実習	1	S		
	栄養学Ⅰ	2	T		
	栄養学Ⅱ	2	T		
	食品学	2	T		
	調理学	2	T		
	調理学実習Ⅰ ※1	1	S		
	調理学実習Ⅱ ※2	1	S		
	住居学概論	2	T	選3	選必2
	児童学概論	2	T		
	家庭看護学	2	T		
	家庭電気・機械及び情報処理	2	S		
	衣造形学	2	T		
	衣整理学	2	T		
	衣環境学	2	T		
	食品化学	2	T		
	食品加工及び貯蔵学Ⅰ	2	T		
	食品加工及び貯蔵学Ⅱ	2	T		
教科の指導法	調理科学	2	T		
	住生活学	2	T		
	家庭科教育法Ⅰ	2	T	必8	選必2
	家庭科教育法Ⅱ	2	T		
	家庭科教育法Ⅲ	2	T		
	家庭科教育法Ⅳ ※3	2	S		
合計単位数				31	29

※1「調理学実習Ⅰ」は食物学科科目「基礎化学Ⅰ(食物学科科目)」 「調理学」修得後でなければ履修不可。
※2「調理学実習Ⅱ」は「調理学実習Ⅰ」修得後でなければ履修不可。
※3「家庭科教育法Ⅳ」は「家庭科教育法Ⅰ・Ⅱ」修得後でなければ履修不可。

『一般的包括的内容』を含む科目について

「教科に関する専門的事項」の必修科目を全て修得すれば、全ての区分(分野)の一般的包括的内容を充たします。

【食物学科】(科目等履修生)

系列	科目名	単位	履修方法	中1	高1
教科に関する専門的事項	家庭管理概論	2	T	必17	必19
	家族関係論	2	T		
	衣生活学概論	2	T		
	衣服実習	1	S		
	食物学概論	2	T		
	調理基礎	1	T		
	調理基礎実習	1	S		
	住居学概論	2	T		
	児童学概論	2	T		
	家庭看護学	2	T		
	家庭電気・機械及び情報処理	2	S	選3	選1
	衣造形学	2	T		
	衣材料学	2	T		
	衣整理学	2	T		
	衣環境学	2	T		
	栄養学Ⅰ	2	T		
	栄養学Ⅱ	2	T		
	食品学	2	T		
	食品化学	2	T		
	食品加工及び貯蔵学Ⅰ	2	T		
教科の指導法	食品加工及び貯蔵学Ⅱ	2	T		
	調理科学	2	T	必8	選必2
	住生活学	2	T		
	住居史	2	T		
	家庭科教育法Ⅰ	2	T		
教科の指導法	家庭科教育法Ⅱ	2	T	必8	選必2
	家庭科教育法Ⅲ	2	T		
	家庭科教育法Ⅳ ※3	2	S		
	合計単位数			28	24

学校図書館司書教諭について

学校図書館司書教諭とは

小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の**教育職員免許状を有する方**が、学校図書館運営について図書館に関する知識や技能を修得し、**学校図書館の担当者として配置される教諭**のことをいいます。なお、2003年4月1日から12学級以上の学校においては、学校図書館司書教諭有資格者の配置が義務づけられました。
一般の図書館に勤務する「司書」とは異なります。

修了証書について

「学校図書館司書教諭修了証書(資格を証明するもの)」は、文部科学省が学校図書館法第5条の規定により、本来は司書教諭の講習を修了した方に対して交付されます。しかし、講習の科目に相当するものとして、文部科学大臣が認定した科目の単位を修得した場合は、当該科目の講習への参加が免除されます。本学では、この相当する科目を履修した後に、本学を介して「学校図書館司書教諭講習」(申請) 手続を行うことによって、実際には司書教諭の講習を受講することなく、「学校図書館司書教諭講習修了証書」が交付される扱いとなっています。

学校図書館司書教諭講習規定科目に対する本学開講科目

(学校図書館司書教諭講習規程第3条)
T：テキスト科目 S：スクーリング科目 (2023 年度参考)

規定科目	単位数	本学開講科目	単位数	開講年次
学校経営と学校図書館	2	学校経営と学校図書館	必修2T	3
学校図書館メディアの構成	2	学校図書館メディアの構成	必修2T	3
学習指導と学校図書館	2	学習指導と学校図書館	必修2T	3
読書と豊かな人間性	2	読書と豊かな人間性	必修2S	3
情報メディアの活用	2	情報メディアの活用	必修2T	3
所要最低単位数	10	本学の所要最低単位数	10	

1999年4月に学校図書館法施行規則が改正されて、1998年度以前に修得した単位は、2003年度以降すべて無効となりましたので、旧規則で一部単位を修得されている方も図書館司書資格を有する方も、新規則による上表開講科目全ての履修が必要となります。

取得時期

毎年6月頃に文部科学省から官報の告示があり次第、本学から申請手続を行います。申請時には、相当する科目を全て履修済みでなければなりません。
申請後の翌年の3月頃に修了証書が交付されます。

対照表 “教育職員免許法施行規則に定める科目”と本学開講科目(2023年度参考)

免許法規定の科目		本学開講科目				
		幼一種	単位	中一種・高一種(家庭)	単位	
66条の6	日本国憲法	日本国憲法	2	日本国憲法	2	
	体育	身体運動実習	1	身体運動実習	1	
		身体運動論	1	身体運動論	1	
	外国語コミュニケーション	英語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	2	
数理・データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作		情報処理演習	2	情報処理演習	2	
教職に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育学概論1	2	教育学概論2	2
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職基礎論1	2	教職基礎論2	2
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育社会学1	2	教育社会学2	2
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学1	2	教育心理学2	2
			青年心理学	2		
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育(幼)	1	特別支援教育(中高)	1
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	保育・教育課程論	2	教育課程論(中高)	2
	道徳、総合的な学習の時間等に関する科目 及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法			道徳教育の指導法(中)	2
		総合的な探求の時間の指導法			特別活動・総合的な学習の時間の指導法(中高)	2
		特別活動の指導法				
		教育の方法及び技術	教育方法・技術1	2	教育方法・技術2(情報通信技術の活用含む)	2
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	幼児教育方法論	2		
		幼児理解の理論及び方法	発達心理学1	2		
			発達心理学2	2		
		生徒指導の理論及び方法			生徒指導・進路指導	2
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	学校カウンセリング基礎論1	2	学校カウンセリング基礎論2	2
	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習(幼)	5	教育実習(中高)	5
		学校体験活動			教育実習(高)	3
		教職実践演習	教職実践演習(幼)	2	教職実践演習(中高)	2
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	健康	子どもと健康・運動	2		
			小児保健学1	2		
		人間関係	子どもと人間関係	2		
		環境	子どもと環境	1		
		言葉	子どもと言葉	1		
			子どもと造形1	2		
		表現	音楽表現	3		
			子どもと表現	2		
		保育内容の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	保育内容指導法(健康)			
	保育内容指導法(人間関係)		2			
	保育内容指導法(環境)		2			
	保育内容指導法(言葉)		2			
	保育内容指導法(表現)		2			
	保育内容総論		2			

※中学校教諭一種(保健)、高等学校教諭一種(保健)免許状は2023年度4月入学者から取得できなくなりました。
※小学校教諭一種免許状は、2018年度4月入学者から取得できなくなりました。

免許法規定の科目			本学開講科目			
			中一種・高一種（家庭）			
			正科生		科目等履修生	
			食物学科	単位	食物学科	単位
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む。)	家庭管理概論	2	家庭管理概論	2
			家族関係論	2	家族関係論	2
		被服学(被服製作実習を含む。)	衣生活学概論	2	衣生活学概論	2
			衣造形学	2	衣造形学	2
					衣材料学	2
			衣整理学	2	衣整理学	2
			衣環境学	2	衣環境学	2
			衣服実習	1	衣服実習	1
			食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む。)	栄養学Ⅰ	2	栄養学Ⅰ
		栄養学Ⅱ		2	栄養学Ⅱ	2
		食品学		2	食品学	2
					食物学概論	2
		食品化学		2	食品化学	2
		食品加工及び貯蔵学Ⅰ		2	食品加工及び貯蔵学Ⅰ	2
		食品加工及び貯蔵学Ⅱ		2	食品加工及び貯蔵学Ⅱ	2
		調理科学		2	調理科学	2
		調理学		2		
		調理学実習Ⅰ		1	調理基礎	1
		調理学実習Ⅱ		1	調理基礎実習	1
		住居学(中一種) 住居学(製図を含む。)(高一種)	住居学概論	2	住居学概論	2
			住生活学	2	住生活学	2
				住居史	2	
		保育学(実習及び家庭看護を含む。)	児童学概論	2	児童学概論	2
			家庭看護学	2	家庭看護学	2
		家庭電気・家庭機械 ・情報処理(高一種)	家庭電気・機械及び情報処理	2	家庭電気・機械及び情報処理	2
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		家庭科教育法Ⅰ	2	家庭科教育法Ⅰ	2
			家庭科教育法Ⅱ	2	家庭科教育法Ⅱ	2
			家庭科教育法Ⅲ	2	家庭科教育法Ⅲ	2
			家庭科教育法Ⅳ	2	家庭科教育法Ⅳ	2

※太字の科目は“一般的包括的内容を含む”科目です。

Q & A

出願に関すること

Q 高等学校卒業後、専門学校を卒業しました。編入学は可能ですか？

A 本学では、専門学校は入学資格としていません。専門学校を卒業していたとしても、本学への入学資格は高等学校卒業となりますので、「1年次入学」に出願してください。

Q 食物学科へ入学を希望しています。食物系の短期大学を卒業しましたが、食物系の単位認定はどのくらいされますか？

A 卒業のための単位認定は、入学区分(編入学、学士入学など)によって、一律に認定単位数が決められています。食物系の授業科目をたくさん短期大学で修得していたとしても、短期大学を卒業したということで認定単位数が決まります。一律認定単位数をこえて認定いたしません。なお、「情報処理」のみ、成績証明書に基づき、個別に認定を行います。(p.20、21参照)

Q 外国の学校を卒業しましたが、入学はできますか？

A 入学資格として認められないケースがありますので、出願前の決められた期間に通信教育課にお問い合わせください。出願の際には英文又は和文の卒業証明書と成績証明書が必要となります。(p.46、49参照)

Q 海外に在住していますが、受講はできますか？

A 海外からのレポート提出は可能ですが、テキスト科目の単位修得のための科目修了試験やスクーリング科目の面接授業は日本で受講しなければなりません。遠隔で実施するスクーリング科目も一部ありますが、全てではありません。また、海外の住所に直接教材などを郵送する場合、海外郵送料が必要となります。出願前に通信教育課にお問い合わせください。

Q 障害等があり、就学上特別な配慮が必要な入学者の受け入れについて教えてください。

A 入学後に特別な配慮を必要とする方は、p.46を参照の上、必ず出願の前に通信教育課へご連絡ください。本人からの申し出、根拠となるものの提出、面接等を経て、本学障害学生支援委員会等により具体的な支援(配慮)内容を確認することになります。

Q 現在大学に通っていますが、退学を予定しています。出願できますか？

A 退学年月日や手続完了日などによって出願可能か不可能かが異なりますので、通信教育課にご相談ください。また、現在の大学を「退学後」でないと本学に出願できませんので、退学予定の大学の担当部署に退学手続きについて早めにご相談ください。4月入学を希望する場合は「退学年月日」が3月31日以前(10月入学は9月30日以前)在籍期間証明書を出願時に提出できる場合に限ります。

Q 3月31日(9月30日)付で大学を退学予定ですが、「退学見込通知書」「退学許可書」で出願できますか？

A 退学見込をお知らせする「通知書」や「許可書」ではなく、退学したことを証明する「在籍期間証明書」が必要です。出願時に「在籍期間証明書」が提出できない場合は、退学手続き中であっても、または退学が許可されていたとしても、出願できません。

Q 大学退学予定で編入学を希望しています。3年次編入学は62単位以上単位修得が必要ですが、出願時には前期までの修得単位40単位の成績証明書しか提出できません。後期修得単位を足せば62単位以上になるのですが、3年次編入学に出願できますか？

A 出願時点での成績証明書にて、修得単位を確認し入学区分を決定します。そのため、出願時の成績証明書が修得単位40単位であれば、3年次編入学はできません。全ての修得単位が記載された成績証明書を提出できるようになってから出願してください。

Q 4月入学と10月入学で迷っています。どちらがいいですか？

A 4月入学をお勧めします。大学の日程は「年度」で決められているため、4月入学のほうが学習計画を立てやすいです。また、本学のスクーリング科目は、多くが「夏期スクーリング科目」(夏に開講)です。10月入学者は、夏期スクーリングが終了した後に入学するため入学初年度は受講できるスクーリング科目がほとんどなく、約半年間はテキスト科目の学習が中心となります。

学費

Q 学費などの納入金について教えてください。

A 出願時納入金、入学後の主な納入金は、正科生と科目等履修生で異なります。(p.48参照) **正科生**の場合、初年度は該当の入学期・入学区分の出願時納入金と、その年度に登録したスクーリング科目のスクーリング履修料(1科目10,000円～27,000円)が必要です。次年度からは、授業料(年額)150,000円とその年度に登録したスクーリング科目のスクーリング履修料が必要となります(その他、実験・実習科目などは実験実習費が必要です)。**科目等履修生**の場合は、出願時納入金にその年度に登録したテキスト科目履修料(1単位8,500円)とスクーリング科目履修料(1単位10,000円～20,000円+実験実習費)が必要となり、テキストは各自で購入していただきます。詳細は本学ホームページにて確認してください。

Q 学費の総額はどのくらいかかるのでしょうか？

A 必要な単位を何年で修得できるかによって、総額が大きく変わってきます。例えば、スクーリングを年に4～5科目程度履修すると、おおそ年額20万円(授業料15万円、スクーリング履修料5万円程度)がかかります。必要な全単位数を修得するのに4年かかれば総額80万円程度(20万円×4年)、6年かかれば120万円程度(20万円×6年)となります。遠方にお住まいの場合は、スクーリング受講のための交通費・宿泊費がさらにかかります。また、学習を進めるために必要な物として、郵送代(切手、封筒)、パソコン、ヘッドセット(イヤホンとマイク)、安定して使用できるインターネット環境、状況によっては遠隔授業の受講場所(空間)などの費用がかかります。卒業や資格取得までに修業年限よりも2～4年程度長くかかる学生が多いのが現状ですので、プラス2年程度は余裕をもって資金計画を立てるとよいでしょう。

Q 10月入学者の出願時納入金が4月入学者に比べて安いです。10月入学者のほうが「学費がお得」なのでしょうか？

A 「授業料」は4月入学者も10月入学者も年額15万円です。10月入学者は年度後半から入学するため、入学初年度に限って授業料の半額を納入してください。次年度以降は4月入学者と同様に毎年年額15万円を年度始めに納入してください。

学習に関すること

Q パソコンを持っていません。パソコンやインターネットの操作が苦手ですが大丈夫でしょうか？

A 学習活動に必須ですので、インターネットが使用できるパソコンとインターネット環境を必ず用意してください。スクーリング授業(遠隔)では、パソコンやインターネットの基本的な操作に加えて、Microsoft Office製品やZoom、Teamsといったアプリケーション操作ができる前提で授業が進みます。不慣れな場合は、授業を受講することが困難となります。関連する書籍を読んだり、パソコン教室に通ったり、操作で悩むことのないようご自身でスキルアップしてください。

Q 通信教育で学習するのは初めてで不安です。テキスト科目の学習の進め方を教えてください。

A 「テキスト(書籍)」を用いて、各自で自宅学習をします。学習の進め方、到達目標や評価基準等を「授業概要(Webで公開)」で確認してテキストを読んでください。テキストが“授業そのもの”ですから、まずはしっかり読むことが必要です。その後、レポート課題に取り組み、レポートが完成したら提出して添削指導を受けます。レポート課題に合格すると、科目修了試験が受験できるようになります。科目修了試験に合格すればテキスト科目の単位が修得できます。おおむね45時間の学修を必要とする内容をもって1単位とします。

Q テキスト科目の「レポート課題」とはどのようなものですか？

A 学習をより深めるために科目ごとにレポート課題が課され、課題に対する解答（レポート）を作成します。1単位につき1課題、1課題当たり2,000字程度のレポートを作成・提出し、教員の添削・評価を受けます。不合格の場合は教員の添削コメントを参考にレポートを書き直し、再提出します。所定の課題を全て合格すると、科目修了試験の受験が認められます。単なる意見や感想はレポートとは言えません。「説明せよ」「考察せよ」といった論述課題が一般的ですので、課題に対する考察とその裏付けを論理立てて記述する必要があります。テキスト以外にも参考文献を確認しましょう。一部の科目を除きパソコンでレポート作成・提出が可能です。

Q 文章を書き慣れていません。レポートが書けるか心配です。

A 書き始める前に問われていることをしっかりと理解し、きちんと対応するように論理立てて記述することが必要です。レポートを提出すると先生から添削コメントが付けられて戻ってきます。不足点や改善点などをその後の学習に生かしましょう。不合格となることもあります。不合格になることを恐れずどんどん提出しましょう。論文の書き方の解説書籍も市販されていますので、参考にするのも良いでしょう。

Q テキスト科目の学習時間はどのように確保したらよいですか？

A 出勤前の早朝、通勤時の電車の中、工作中的の昼休み、家族が寝静まった夜など、学習できる場所や時間は人それぞれです。まずは日々の生活を見直し、すきま時間を見つけたり週末に数時間じっくり学んだり、自分に合った学習時間や場所を見つけてください。模索していく中でご自身の持続可能な学習環境が少しずつ見えてくると思います。

Q 試験会場の場所はどこですか？

A 試験会場は全国に44か所あります。試験日によって会場が変わることがありますが、主に県庁所在地に試験会場を設けています。(p.16参照)

Q 科目修了試験の際には、時々子どもを実家に預けて受験したいと考えています。実家のある東京と現住所のある水戸で、交互に受験することはできますか？

A 科目修了試験は、基本的には出願書類で登録した受験地で受験することになりますが、一時的な受験地の変更も可能です。また、登録した受験地を変更することも可能です。詳しくは入学後にご確認ください。

Q 科目修了試験にテキストなどを持ち込むことは可能ですか？

A テキスト、ノート、辞書、電卓などの一切を持ち込むことはできません(カバンにしまう)。試験時間は1科目あたり1時間です。科目にもよりますが、論述式の問題です。

Q 夏期スクーリングの履修料・必要経費はどのくらいかかりますか？

A 正科生のスクーリング履修料は、講義・演習科目は1科目10,000円です。実験・実習・実技科目は1科目15,000円です。また、教科書は各自で購入していただきます。例えば、講義科目4科目を修得するため関西から上京しホテルに2週間宿泊してスクーリングを履修した場合、個人により差はありますが、交通費、履修料、宿泊費、生活費(飲食費など)で、少なくとも20万円程度の費用を必要とする計算になります。

Q 集中スクーリングの開講状況について教えてください。

A 主に土・日・祝日を利用した3日間又は2日間で開講しています。2023年度は本学目白キャンパスと遠隔にて25科目を開講しました。

Q スクーリングは遠隔授業ですか？遠隔授業ではどのようなものを用意すればよいですか？

A 全てのスクーリングが遠隔授業ではなく、対面(大学キャンパスに通学し、教室で受講)で実施する科目も多くあります。年度毎、科目毎に実施方法が異なりますので、入学後に確認してください。遠隔授業はインターネットを使用します。①パソコン、ヘッドセット(イヤホンとマイク)、Webカメラ(Zoom等使用時に必要、カメラ内蔵パソコンであれば不要)、プリンターなどの機器の準備、②安定して利用できるインターネット環境、③パソコンやインターネットの操作スキルやマニュアルを見て設定などができること、④受講場所(受講に適している空間)の確保などが必要です。p.15を参照してください。

Q スクーリングの宿泊場所はこうすればよいでしょう。

A 宿泊場所は各自で手配してください。夏期スクーリング期間中は、近くのホテルも紹介します。

Q 「履修科目登録」とは何ですか？

A 高等学校までと異なり、大学では学習する科目を自分で決めて登録します。テキスト科目・スクーリング科目のそれぞれについて、年度ごと、所定期間に履修科目登録が必要です。履修科目登録を行わなければ通信教育課程の学習を始めることができません。

Q 何から始めてよいかわからないときや学習に行き詰まったときなど、相談に乗ってもらえますか？

A 通信教育課程には各学科に特任教員がおり、入学オリエンテーションをはじめ、学生の履修相談を行っています。疑問や悩みがあれば気軽にお尋ねください。また、事務的な質問には通信教育課職員がメールまたは電話でお答えします。不明な点はそのままにせず遠慮なく質問してください。

Q 仕事をし、家庭がある中で通信教育を受けたいと思います。皆さんはどのように学習しているのでしょうか？

A 働きながら通信教育を続け、卒業や資格取得などの目的を達成した方はたくさんいます。テキスト科目では学生自身が学習計画を調整できるため、小さなお子さんがいる方や介護で忙しい方も、すきま時間を工夫・活用して学習時間を確保しています。また、スクーリング科目の出席に向け、日ごろから職場や家庭の理解を得られるよう努めているようです。

Q どのくらいの方が卒業しますか？

A 1年間におおよそ100名の方が卒業されています。ただし、通信教育課程の学生は年齢・職業・家族構成もさまざまで、入学年次も1年次入学から3年次学士入学まで差があり、学習時間も人によって異なります。また、卒業する必要がない学生(教職免許状取得のための単位取得のみが目的)も多数在学しています。

児童学科

Q 認定絵本士の取得条件を教えてください。

A 認定絵本士の該当科目(全て対面のスクーリング科目)3科目を全て同一年度に修得する必要があります。ただし、受講希望者多数の場合は受講調整を行うため、受講を希望する年度に受講できるとは限りません。認定絵本士のみを目的として入学する学士入学者の場合も、入学した年に受講できず2年、3年とかかる可能性がありますのでご了承ください。

Q 児童学科に入学したいのですが、ピアノが弾けないと困るのでしょうか？

A ピアノ実技のある音楽の科目は、児童学科の卒業のために必要な科目ではありません。ただし、幼稚園の教育職員免許状を取得するためには必要です。全くピアノを習ったことがない方、短期間しか習ったことがないという方は、余裕を持って事前に課題曲に取り組んでおくことが大切です。

食物学科

Q 食物学科を志望していますが、何か特別な知識が必要ですか？

A 食物学科は理系の学科で、生物・化学の基礎知識を必要とします。本学科の志望者は、高等学校において「生物」「化学」「数学」を履修済みであることが望ましいこととなっています。基礎学力に不安がある場合は、高等学校「生物」「化学」「数学」を復習してください。

Q 食物学科は実験・実習のスクーリング科目が多いと聞きました。何か気を付ける点がありますか？

A 食物学科には修得する順序が決まっている科目が多くあり、希望するタイミングで希望するスクーリング科目を受講できるとは限りません。年度単位だけでなく複数年での長期履修計画を立てることが重要です。テキスト科目の修得状況も確認しながら、スクーリング科目の受講計画を立ててください。

教育職員免許状取得

Q 以前は教員免許取得を目指していなかったため、出身大学で教職科目の単位を全く取得していません。「学力に関する証明書」は提出しなくてよいですか？

A 大学(短期大学)で教員免許取得に関わる科目を全く取得していなかったとしても、本学で免許取得を希望する方はもれなく提出してください。提出前にはコピーを取るか、2部入手して1部は手元に保管してください。

Q 現在40歳を過ぎたところです。初めての免許取得を目指したいと思いますが、可能でしょうか？また、教育実習も可能でしょうか？

A 免許状取得に明確な年齢制限はありませんが、「教育実習」は20～30代で受講するのが一般的です。原則として、教員採用試験の受験可能年齢までに受講することが望ましいですが、年齢が高くなればなるほど体力面や教育実習先の確保の面で難しくなります。実習先が見つからない場合、実習を受講できず免許状を取得できません。「教育実習」は、あらかじめ定められた科目を全て修得した方のみ受講可能になりますので、教育実習に行くための科目をクリアするのに最低でも2～3年、4～5年かかる方も多い実情を勘案すると、実際に実習に行くのは45歳前後となります。

Q 幼稚園免許の取得を希望しています。体力に不安がありますが、教育実習は可能でしょうか？

A 実習は4週間行いますが、想像する以上に体力が必要です。思考の柔軟性も非常に重要で、子どもたちへの臨機応変な対応が求められます。子どもと関わるのが少ない方は、日ごろから積極的に子どもたちと触れ合う努力が必要です。

Q 教育実習校・園は、大学が決めてくれるのでしょうか？

A 幼稚園の実習は本学附属園で行うのが原則ですが、本学で申請できる東京都公立学校での受け入れは極めて少なく、また、本学附属校で受け入れることができるのは、毎年ごく少数に限られています。出身校・園などにご自分で交渉するなどして、実習校・園を探していただいています。

Q 教職に関わる入学時の単位認定について、認定される科目(単位数)を教えてください。

A 出願時に提出された「学力に関する証明書」と「成績証明書」をもとに本学の基準に照らし認定します。出願前に認定科目(単位数)をお答えすることはできませんが、法律改正により全く認定できないケースが増えています。認定できる科目(単位数)は、個々の状況によります。全く認定できない方が多いですが、3～4科目認定される方もいます。また、栄養教諭、養護教諭を取得するために修得された単位については、本学では単位認定を行っていません。科目等履修生などの非正規生で修得した単位、専門学校で修得した単位も認定対象外です。

Q 出身大学等で「施行規則第66条の6に定める科目」のうち、「日本国憲法」「英語」のみ修得しています。今後どのように履修すればよいのでしょうか？

A 出身大学等で発行される「学力に関する証明書」に証明されれば、「日本国憲法」「英語」をあらためて本学で履修する必要はありません。証明されない場合は本学で履修してください。また、出身大学で修得していない「体育」「数理・データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」は、本学で修得してください。なお、入学時に単位認定(一括認定、個別認定)される場合がありますが、あくまでも卒業に必要な科目として認定しており、「教育職員免許状に必要な科目としての認定」ではありませんので、本学が発行する「学力に関する証明書」において証明はいたしません。

Q 3年次編入学を希望しています。現在は教育職員免許状を持っていませんが、卒業とあわせて免許状の取得を目指しています。何年で取得できますか？

A 教育職員免許状一種を取得するためには、4年制大学を卒業することが必要です。卒業要件の科目に加え、教育職員免許状に必要な科目を同時並行で履修する必要があります。卒業のみの場合でも最低修業年限の2年間で取り終えることは難しく、多くの学生が3～5年程度かかっています。免許状の科目も学習するとなると、さらに1～2年程度かかる方が多いようです。

Q 大学を卒業しているのですが、初めて中学校・高等学校一種(家庭)の教育職員免許状を取得する目的で入学したいと考えています。方法と期間を教えてください。

A 食物学科の正科生として3年次学士入学してください。学士の学位を取得済(基礎資格あり)なので、免許だけを希望する場合は、教育実習を含む免許状を取得するために必要な単位を修得し、個人申請による免許状の授与を受けた時点で年度末の退学が可能です。なお、免許状も取得し本学も卒業したい場合は、教育職員免許状取得に必要な単位と卒業に必要な科目(単位)を修得してください。学習の進捗状況にもよりますが、スクーリング実習科目も多いため免許状取得には2年では難しく、3～4年以上かかると考えてください。中学校免許取得のためには介護等体験も必要です。科目によって段階履修があるため、さらに時間がかかる可能性があります。

Q 児童学科の正科生として3年次学士入学し、幼稚園の教員免許状取得を希望しています。何年で取得できるでしょうか？

A 入学時の認定科目やスクーリングの時間割、教育実習を受講するための条件科目をいつ取り終えるかなど個々の状況によりますが、取得まで2年では難しく3～4年以上かかる方が多いようです。

Q 短期大学卒で中学校二種「家庭」の教育職員免許状を所有しています。今度は中学校・高等学校一種「家庭」の免許状にしたいのですが、また教育実習が必要ですか？

A 中学校・高等学校一種「家庭」の免許状を取得するためには、基礎資格として「学士の学位」が必要になりますので、本学の卒業を目指してください。中学校二種を一種にする場合に限れば(上級免許の申請)、一種と二種の差の単位を修得すればよいので、あらためて教育実習を行う必要はありません。高等学校一種の免許状取得を希望する場合、短期大学には高等学校の免許状の課程認定がありませんので、高等学校一種に必要な単位を全て修得することになります。入学時に教職の単位として認定された単位は教職に必要な単位として算入できますが、認定されなかった単位はあらためて本学で修得しなければなりません。入学時に教育実習の単位が認定された場合はあらためて教育実習を行う必要はありませんが、認定されなかった場合は教育実習が必要となります。

Q 中学校一種「国語」の教育職員免許状を所有しています。今度は中学校一種「家庭」を取得したいのですが、正科生・科目等履修生のどちらがよいのですか？

A 中学校・高等学校一種の他の教科の免許状を取得するためには、科目等履修生として入学することも可能ですが、教科及び教育法科目(約30単位)を1年間で修得することはできません。女性であれば正科生3年次学士入学を検討してください。なお、科目等履修生の入学案内は本学ホームページで公開しますので、その中のQ&Aもお読みください。

2024年度 募集要項(正科生)

募集定員

入学区分		学部・学科	募集定員
正科生	1年次入学 2年次編入学 3年次編入学 3年次学士入学 科目等履修生(資格コース) 科目等履修生(教養コース)	児童学科	1,000名
		食物学科	1,000名

※正科生の募集は女子のみです。
※科目等履修生(両コース)は、正科生の授業に支障のない範囲で入学を許可します。
詳細は本学ホームページをご覧ください。

入学時期・出願受付期間・募集対象者

4月入学	出願受付期間	募集対象者
第1回募集	2024年2月5日(月)～2月29日(木)必着	正科生のみ
第2回募集	3月2日(土)～3月29日(金)必着	正科生・科目等履修生
第3回募集	4月1日(月)～5月1日(水)必着	正科生のみ

※科目等履修生に出願する者は、科目等履修生用の2024年度入学案内・出願書類を本学ホームページからダウンロードして入手してください。

10月入学	出願受付期間	募集対象者
第1回募集	2024年7月10日(水)～8月10日(土)必着	正科生・科目等履修生
第2回募集	8月19日(月)～9月20日(金)必着	正科生のみ

入学資格

正科生	下記に該当する女子のみ入学を許可しています
-----	-----------------------

●1年次入学

- ①高等学校又は中等教育学校を卒業した者(卒業見込者を含む)
- ②通常の課程による12年の学校教育を修了した者(修了見込者を含む)
- ③学校教育法施行規則の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者(これに該当する見込者を含む)
 - (1)外国において学校教育における12年の課程を修了した者(修了見込者を含む)又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - (2)文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者(修了見込者を含む)
 - (3)文部科学大臣の指定した者
 - (4)高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(廃止前の大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む)で、2024年4月1日現在18歳以上の者
 - (5)本学において個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者

●2年次編入学

【2学科共通】

- ①4年制大学に1年以上在学し、30単位以上修得した者又は本学入学前までに修得見込の者

【食物学科のみ】

- ②短期大学卒業者(卒業見込者を含む)
- ③高等専門学校(5年制)を卒業した者(卒業見込者を含む)
- ④①～③と同等以上の学力を有すると認められた者

●3年次編入学(児童学科)

- ①4年制大学に2年以上在学し、62単位以上修得した者又は本学入学前までに修得見込の者
- ②短期大学卒業者(卒業見込者を含む)
- ③高等専門学校(5年制)を卒業した者(卒業見込者を含む)
- ④①～③と同等以上の学力を有すると認められた者

●3年次学士入学

- ①4年制大学を卒業した者(卒業見込者を含む)
- ②学校教育法の規定により学士の学位を授与された者
- ③文部科学大臣の指定した者
- ④本学において①～③と同等以上の学力を有すると認められた者

以下の場合の入学資格は、「高等学校を卒業した者」となります。

- ①大学中途退学者で、修得単位が30単位未満の者
- ②短期大学中途退学者
- ③高等学校卒業後に、保育専門学校等の各種学校、専修学校高等課程、文部科学省指定の教員養成所、監督庁の定める大学校を卒業(修了)した者
- ④外国の大学中途退学者

科目等履修生

男女ともに入学を許可しています

出願書類や出願方法は全て本学HPに掲載します。 <https://www.jwu.ac.jp/ccde/> **出願書類は各自ダウンロードしてください。**

●科目等履修生(資格コース)

- ①4年制大学を卒業した者
- ②高等学校又は短期大学卒業者で、教育職員免許状を有する者(例:短期大学を卒業し、教育職員免許状を取得した者。高等学校を卒業後教育職員検定に合格し、教育職員免許状を取得した者など)

●科目等履修生(教養コース)

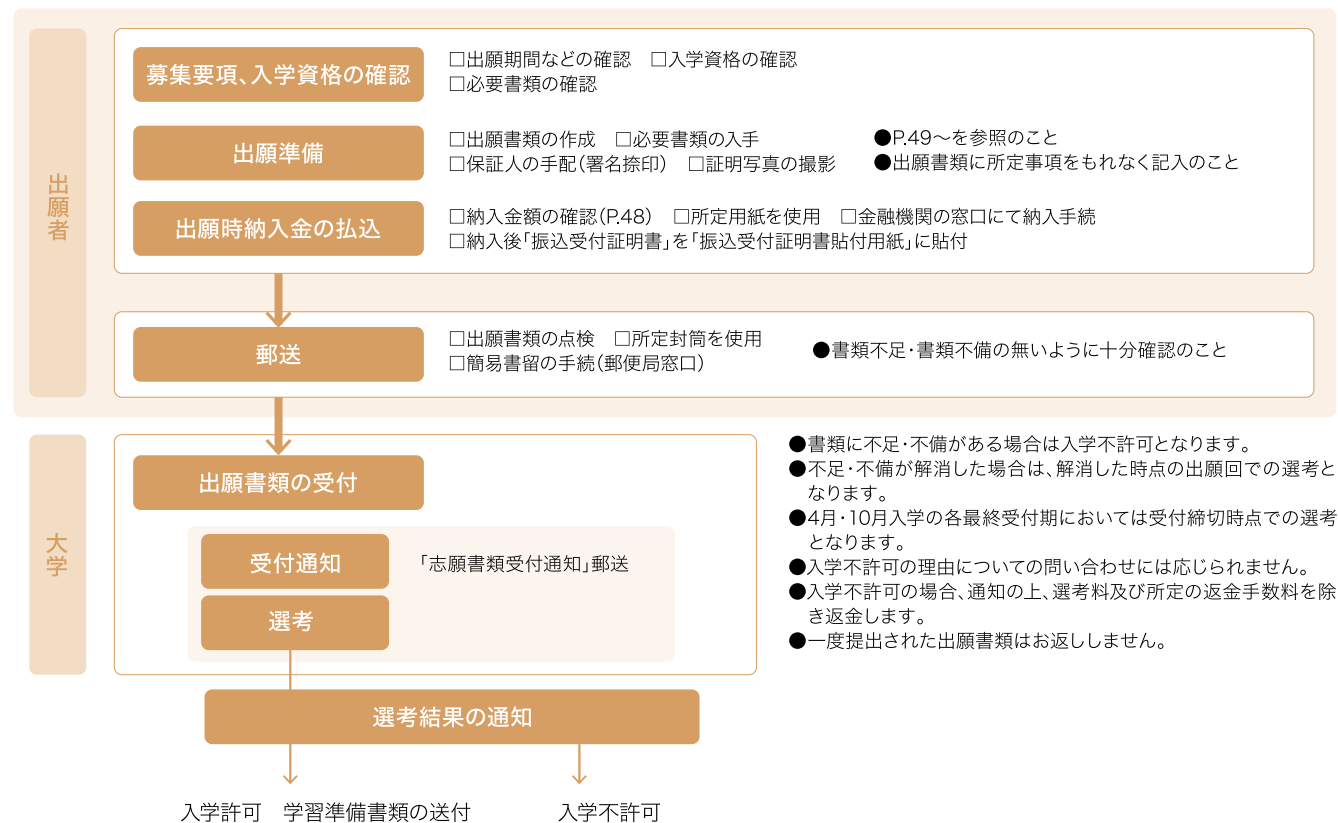
大学入学資格があり、2024年4月1日現在18歳以上の者

入学者選考方法

●日本女子大学家政学部通信教育課程入学者選考規程(抜粋)

第3条 通信教育課程の入学者選考は、学科別に書類選考の上、入学を許可し、必要に応じて面接を行うこともある。

出願から入学許可まで



出願

出願に当たって

- 短期大学(専攻科を含む)、大学(大学院を含む)に在学中の「正規の学生」は、正科生として入学できません。
- 外国在住の方が、本学通信教育課程に入学を許可されても留学扱いにはなりません。
- 次の方は、出願する前に通信教育課入学係(03-5981-3200)にご相談ください。
 - ①障害等があり、就学上特別な配慮を必要とする方
 - ②トランスジェンダー(女性)の方
 - ③外国の大学・短期大学を卒業した方
 - ④外国に在住の方
 - ⑤外国籍の方

①障害等のある方の出願について ―(注意)事前に入学相談が必要な方―

身体又は精神に障害等があり、入学後に特別な配慮を必要とする方は、出願の前に必ず通信教育課入学係へ電話又はメールにてご連絡ください。内容をうかがい、手続きの詳細をご案内します。

本学では、バリアフリーの環境整備に努めており、スクーリング(面接授業)の受講や科目修了試験の受験等に当たっては、本学目白キャンパス内に限り対応可能な範囲で配慮しますが、必ずしも全てのケースに対応できるとは限りません。入学後のミスマッチを防ぐためにも、事前にご相談いただいています。また、必要に応じて学科教員との面接やキャンパスの見学等を実施します。

入学後に配慮(学修支援)を必要とする場合は、本人による申出書のほか、「身体障害者手帳」「精神障害者手帳」のコピー、主治医による診断書(具体的な配慮内容を記したもの)等を提出していただきます。その後、校医等の面接を経て本学障害学生支援委員会等により支援(配慮)の内容を確認することになります。

なお、提出していただいた書類は、入学後の配慮(学修支援)を検討する目的にのみ使用し、合否には一切関わりません。

②トランスジェンダー(女性)の出願について

2024年4月入学より、自らの性自認に基づき本学で学びたいと希望するトランスジェンダー女性(注1)の方に出願資格を拡大することを決定しています。

出願希望者は、事前に「ガイドライン(注2)」をお読みいただき、申出期限(下表参照)までに「出願申出書」及び「住民票又はパスポートの写し」等を郵送してください。

ご提出いただいた書類で出願資格等の確認をいたしますが、申し出によって合否判定の際に不利に取り扱われることはありません。

(注1)出生時に割り当てられた性別が女性以外で性自認が女性である人
(注2)「すべての女性が共に学ぶためのガイドライン トランスジェンダー学生(女性)を迎えるためにー」はホームページで公開しています。→



出願資格確認 申出期限 (簡易書留・消印有効)	入学	出願受付期	出願受付期間
2024年 1月12日(金)	4月	第1回募集	2024年2月 5日(月)～2月29日(木) 必着
		第2回募集	2024年3月 2日(土)～3月29日(金) 必着
2024年 3月 1日(金)		第3回募集	2024年4月 1日(月)～5月 1日(水) 必着
2024年 6月28日(金)	10月	第1回募集	2024年7月10日(水)～8月10日(土) 必着
		第2回募集	2024年8月19日(月)～9月20日(金) 必着

③海外の学校を卒業した場合

海外の学校を卒業しそれを入学資格とする場合は、出願資格について事前に確認が必要です。

入学係(03-5981-3200)へ電話にて問い合わせた上で、出願希望回の出願開始日1週間前までに、以下の書類を通信教育課宛に郵送してください。

【事前確認に必要なもの】

- ①卒業証明書(写し)
- ②成績証明書(写し)
- ③その和訳文

※出身学校において上記①②の証明書が存在しない場合は、存在しないことがわかる書類(学校と証明書発行について問い合わせたメールのやり取り、ホームページの記述など)とともに、

- ①に替わるものとして、学位の記載のある卒業証書(写し)、取得学位が明記してある証書(写し)など(学士: Bachelor、短期大学士: Associate)
- ②に替わるものとして、在学期間(入学年月、卒業年月)、履修科目・修得単位数が記載されているもの(写し)を提出してください。

※事前相談なく出願された場合は、希望する出願回での選考ができない場合があります。

※期日までに提出された場合でも、内容によっては希望する出願回での選考ができない場合もあります。

※外国の大学卒業者で本学通信教育課程において教育職員免許状の取得を希望する場合は、あらためて本学通信教育課程を卒業する必要があります。

出願時期と学習活動の目安

出願時期によって学習の機会が異なりますので、可能であれば「第1回募集」の受付期に出願することをお勧めします。

また、最新の情報は通信教育課程公式ホームページや入学後に在学生ポータルサイトで確認してください。

4月入学第1回募集に出願すると4月上旬から、10月入学第1回に出願すると10月上旬から学習を開始できます。

出願時期が遅くなるごとに、テキスト科目の学習開始(レポート提出・科目修了試験受験)が遅くなります。

また、希望のスクーリング科目が受講できないことがあります(下表参照)。

入学後の日程については「予定」です。実際の日程と異なる場合があります。

出願受付期			4月			10月	
			第1回募集	第2回募集	第3回募集	第1回募集	第2回募集
出願	出願受付期間(必着)		2/5～2/29	3/2～3/29	4/1～5/1	7/10～8/10	8/19～9/20
入学	入学許可・不許可通知等発送		3/21～	4/16～	5/21～	8/27～	10/8～
	オリエンテーションの開催予定		3/30	4/27	6/1	9/7	10/19
学習	テキスト科目	履修登録の手続予定 配本時期の目安	4月上旬～ 5月上旬	4月下旬～ 5月下旬	6月中旬～ 6月下旬	9月上旬～ 10月上旬	10月下旬～ 11月下旬
		レポートの 提出時期の目安	5月締切分～	6月締切分～	7月締切分～	11月締切分～	12月以降 締切分～
		科目修了試験の 受験目安	第2回～ (7月)	第3回～ (9月)	第3回～ (9月)	第5回～ (1月)	次年度第1回～ (5月)
	スクーリング 科目	入学年度の 受講可能な目安	6月以降の 開講科目	7月以降の 開講科目	7月以降の 開講科目 (注1)	11月以降の 開講科目 (注2)	

(注1)8月開講科目であっても一部受講できない可能性があります
(注2)開講科目が少ない可能性があります

「健康診断書」の提出

入学許可後、「健康診断書」を提出していただきます。未提出の場合、学習活動が行えません(詳細は入学許可後にお送りする書類で確認してください)。

出願時納入金

出願時納入金、授業料等は年度により改定する場合があります。改定のあった場合は、改定後の金額が適用されます。

払込期限

入学時期		払込期間
4月入学	第1回募集	2024年2月 5日(月)～2月28日(水)
	第2回募集	3月 2日(土)～3月28日(木)
	第3回募集	4月 1日(月)～4月30日(火)
10月入学	第1回募集	2024年7月10日(水)～8月 9日(金)
	第2回募集	8月19日(月)～9月19日(木)

正科生の出願時納入金は以下のとおりです。入学区分に従って金融機関窓口から納入してください。
必ず本学所定の払込用紙(出願書類一式)を使用してください。

正科生	入学区分	選考料	入学金	入学年度授業料	保険料	編入学・学士入学手数料	合計
4月入学	1年次入学	11,000円	30,000円	150,000円	480円	—	191,480円
	編入学※1 3年次学士入学	11,000円	30,000円	150,000円	480円	10,000円	201,480円
10月入学	1年次入学	11,000円	30,000円	75,000円※2	480円	—	116,480円
	編入学※1 3年次学士入学	11,000円	30,000円	75,000円※2	480円	10,000円	126,480円

※1 編入学は2年次編入・3年次編入共通

※2 10月入学の授業料は入学年度のみ半期分(75,000円)です。

※出願時納入金を納入(払込)後、大学に出願書類が到着してはじめて出願の受付がされます。したがって、納入後は速やかに出願書類を送付してください。納入後に書類を送付せず出願を取りやめた方が出願時納入金の返金を希望する場合、速やかにお申し出ください。申し出がなく連絡がとれない場合は返金できません。

- 授業料の中には、「テキスト」「科目修了試験受験」「リポート添削指導」、補助教材の「女子大通信」などの費用が含まれます。
- 保険料は教育研究活動及びその往復途中に災害・傷害があった場合のために、正科生には全員加入していただいている「学生教育研究災害傷害保険」と「学研災付帯賠償責任保険」のための費用です。
- 選考により入学不許可となった場合は、選考料と所定の返金手数料を除き返金します。

「高等教育の修学支援新制度」について

★日本女子大学は、「大学等における修学の支援に関する法律」に基づく修学支援制度「高等教育の修学支援新制度」の対象校です。
この制度を希望される方は、出願前に必ず日本女子大学通信教育課程ホームページ「高等教育の修学支援新制度について」(https://www.jwu.ac.jp/ccde/admission/koutou_shugakushien.html)を確認してください。

入学後の主な納入金

スクーリング履修料(参考)	1科目	10,000円～27,000円※
卒業セミナー履修料		20,000円
教育実習費	5単位	45,000円
	3単位	22,000円
介護等体験		14,000円

※講義科目の大部分は10,000円となります。

次年度以降の納入金

授業料	年額	150,000円
保険料		340円

正科生 入学資格別 必要書類一覧

○印の書類を提出してください。

入学区分		正科生								
		1年次入学				2・3年次編入学			3年次学士入学	
必要書類	入学資格・最終学歴	高等学校卒業 (卒業見込) (注1)	中等教育学校卒業 (卒業見込)	高等学校卒業程度 認定試験合格 (合格見込)	大学入学資格検定合格	短期大学卒業 (卒業見込)	高等専門学校卒業 (卒業見込)	大学中途退学 (注2)	大学卒業 (卒業見込)	学位授与機構により学士 の学位を授与された者 (大学卒業者を除く) (卒業見込)
	① 入学志願書(裏面:志願理由書)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	② 誓約書・保証書	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	卒業(見込)証明書	○	○			○	○		○	○ (注4)
	出身高校調査書	○ (注3)								
	合格(見込成績)証明書			○	○					
③	在籍期間証明書	短期大学又は大学の 中途退学者のみ○				△ (注5)	△ (注5)	○	△ (注5)	
	学位授与証明書 (学位授与機構が発行したもの)									○
	成績証明書	短期大学又は大学で 単位を修得した場合のみ○				○	○	○	○	○
	学力に関する証明書(p.56参照) (教職課程履修科目についての資料)	教職免許状取得希望者のうち、 短期大学又は大学で 単位を修得した場合のみ○				教育職員免許状取得希望者は全員○				
④	3連用紙 出願書類受付通知／振込 受付証明書貼付用紙／写真台帳	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑤	戸籍個人事項証明書(戸籍抄本)	証明書と現在の姓名が異なる場合のみ○								
	住民票(住民票記載事項証明書) (在留資格・期間を明記したもの)	外国籍で日本に居住する場合のみ○								

注1 短期大学中途退学者、2年次又は3年次編入学の入学資格がない大学中途退学者は、入学資格が「高等学校卒業」となります。高等学校の卒業証明書を提出してください。

注2 2年次又は3年次編入学の入学資格のある大学中途退学者がここに該当します。

注3 見込者のみ

注4 基礎資格を得た学校のもの

※最終学歴が大学院の場合、本学での入学資格は「大学卒業」になります。学部の証明書を提出してください。(大学院の証明書は不要)

注5 2024年3月に退学した2024年4月入学者、2024年9月に退学した2024年10月入学者は、入学資格に関わらず必要です。

①入学志願書(裏面:志願理由書)

- 記入方法についてはp.52～の「記入上の注意」を参照のこと。
- 写真(縦4cm×横3cm)は最近3か月以内撮影の証明書用写真(カラー、上半身正面向、無帽、無背景)。証明写真としてふさわしいもの(スナップ写真、特殊加工・修正、不鮮明、自分で撮影・印刷したものは不可)。裏面に氏名を記入。同じ写真を2枚用意し、1枚を貼付してください。もう1枚は写真台帳(④3連用紙)に貼付してください(学生証に使用)。証明書用写真としてふさわしくない写真は、受付できません。

適切な写真



不適切な写真



顔が切れている



余白が少ない



服装が背景と区別できない



白く顔が判然としない

②誓約書・保証書

- 全員提出してください。
- 必ず、本人、保証人(保証人が海外在住の場合、連絡人も同様)それぞれの自筆で記入してください。(p.54参照)
- 志願者が保証人欄を代筆することはできません。
- 保証人が同姓の場合、本人と同一の印鑑不可。

③各種証明書

- 原本(発行から6か月以内のもの、コピーは不可、厳封でなくてよい)を提出してください。
- 大学院修了者は、大学(学部)の証明書を提出してください。大学院の証明書は不要です。
- 「卒業(見込)証明書」「成績証明書」は、和文又は英文に限ります。
- 卒業見込で出願した(「卒業見込証明書」を出願書類として提出した)場合、卒業決定後に「卒業証明書」を次の期日までに提出してください。提出なき場合は「入学取消」となる場合があります。

卒業見込出願者の 再提出期日	3月卒業見込で 4月入学に出願した場合: 4月10日(水)
	9月卒業見込で10月入学に出願した場合: 10月10日(木)

また、短期大学又は大学を卒業見込で出願し出願後に修得単位の追加がある場合、「卒業証明書」に加えて「成績証明書」「学力に関する証明書」(該当者のみ)を上記期日までにあらためて提出してください。追加の単位認定を行います。(期日以降は追加の単位認定は行いません)

※現在大学に在学中の退学予定者へ(学士入学者も対象)

- 退学年月日や退学手続完了日などによって可能な出願回が異なりますので、まずは本学入学係までご相談ください。
- 現在の大学を「退学」後でないとは本学に出願できませんので、退学予定の大学の担当部署に退学手続について早めにご相談ください。入学資格とする学歴(大学卒業など)が別にある場合も同様です。
- 退学予定の大学の証明書発行に時間がかかる場合もあります。出願回が複数ありますので、証明書類が整ってから出願してください。
- 「在籍期間証明書」は、一般的に、退学年月日を過ぎてから入手が可能となります。例えば、9月30日付退学予定者が証明書を入手できるのは10月1日以降であるのが一般的です。そのため、証明書の入手可能日(10月1日)よりも前に10月出願締切日(9月20日)がきますので、9月30日付退学予定者は一般的には10月入学には出願できません。

「在籍期間証明書」について

※証明書記載の「退学年月日」は、4月入学を希望する場合は3月31日以前、10月入学は9月30日以前であることが必要です。
※「通知書」ではなく、退学したことを証明する「在籍期間証明書」が必要です。「在籍期間証明書」が提出できない場合は、退学手続中であっても出願できません。証明書が入手できた後の出願回に出願してください。
※大学退学を入学資格とする・しないにかかわらず提出してください。

「成績証明書」について

※成績証明書に記載された修得単位数によって、2年次編入学・3年次編入学などの入学区分を決定します。希望する入学区分に必要な修得単位が載っている成績証明書を提出してください。
※大学退学を入学資格とする場合又は修得単位の認定を希望する場合は提出してください。
例)3月31日付退学予定者が3月中に成績証明書をとり寄せた場合、後期分の修得単位が記載されていない場合があります。後期分の修得単位を足さないと入学区分の条件単位数に満たない場合は3月中の出願を止め、後期分の修得単位が記載された成績証明書を4月以降に取り寄せて、4月以降に出願してください。

※「学力に関する証明書」「教職課程履修科目についての資料」について

- 出身大学・短大で履修した課程・免許法に基づく「学力に関する証明書」(旧教員免許申請用単位修得証明書)を、教育職員免許状取得希望者は全員提出してください。提出された「学力に関する証明書」を元に教職単位を認定します。
- 「学力に関する証明書」とは、「成績証明書」とは全く別の証明書です。成績証明書とは別に取り寄せてください。
- 「新法」と「旧法」を選べる場合は、「新法」の証明書を提出してください。

- 一般的に発行までに日数(1週間ほど)のかかる証明書です。特に春・夏の休暇期間中は大学等の事務室が閉まっている場合がありますので、早めに入手してください。
- 今まで大学等で教職を目指していなかった方も、免許が取得できない教育機関で学んでいた方も、「66条の6に定める科目(体育、外国語コミュニケーションなど)」の単位を修得できている場合があります。教職取得希望者は必ず「学力に関する証明書」を提出してください。出身大学等が証明書を発行できない場合は、出願前に本学へご相談ください。
- 1年次入学に出願する者であっても、短期大学・大学での修得単位があり教育職員免許状の取得を希望する場合は、「成績証明書」とともに「学力に関する証明書」を提出すれば、教職単位の認定を行います。
- 入学後に学習計画を立てるにあたって、「学力に関する証明書」の記載内容を確認することが必要になります。提出前にコピーを取るか、2部入手して1部は手元に保管し、ご自身で確認できるようにしてください。
- 「教職課程履修科目についての資料」とは、科目内容(シラバス)ではなく"免許法上の区分"と"具体的な科目名"の対応がわかる資料のことです。在学時使用していた「履修の手引」や「履修要覧」などに載っていた"取得科目一覧"や"対照表"などの表(コピー)を提出してください(必須ではないが、なるべく提出のこと)。

④ 3連用紙

- 志願書類受付通知(はがき) 所定の欄(表面)に住所・氏名を記入してください。「様」は消さないでください。
- 振込受付証明書貼付用紙 出願時納入金(p.48)を金融機関窓口から払い込み、金融機関窓口の受付印のある「③振込受付証明書」を「振込受付証明書」貼付用紙に貼付してください(出願書類一式の本学所定用紙を使用)。受付印のないものは認められません。自動振込機(ATM)は使用しないでください。
- 写真台帳 入学志願書に貼付したものと同一の写真を、はがれないように貼付し、下欄に氏名を記入してください。

⑤戸籍個人事項証明書(戸籍抄本)／住民票(住民票記載事項証明書)

- 該当者のみ原本(発行から6か月以内のもの、コピー不可)を提出してください。

②志願理由書

- 丁寧な文字で記述し、記述後に署名欄に自署してください。
- 設問1、3は、決められた字数で記述してください。字数が足りない場合、書類不備となります。設問2は、文字数の制限はありません。
- 設問4は、教育職員免許状取得希望者のみ記述してください。
- 文頭を1文字空けたり改行したりせずに記述してください。句読点(、。)は省略しないでください。
- まずは別の紙で下書きをしてから、清書してください。訂正は二重線で消し、訂正印を押してください。

②志願理由書－見本

1マス目から書き出すこと

よく確認のこと

決められた字数を記述

該当者は記入

③誓約書・保証書

- 「志願者」欄は、志願者本人が自筆で記入してください。
 - 「保証人」欄は、保証人本人が自筆で記入してください。
- ※志願者が「保証人」欄を代筆することはできません。

保証人について

- 志願者が成年者であっても保証人は必要です。
- 保証人は、知人、職場の同僚・上司、親族など、どなたでも構いません。ただし、保証内容を含む責任能力のある成年者に限ります。

連絡人について

- 「保証人」が海外在住の場合に限り、連絡人欄の記入が必要です。連絡人欄は、連絡人本人が自筆で記入してください。

志願者が記入・捺印すること

本人からみた関係を書くこと
(出願者が子、保証人が父なら「父」)保証人が記入・捺印すること
(志願者の代筆不可)

連絡人が記入・捺印すること

(記入例)

日本女子大学長 殿

誓 約 書

入学許可の上は、在学中、学則その他の規則及び貴学の指示決定はかたくこれを守り、もしこれにそむき、又は学生の身分にもとる行為あるときは、貴学の指示に従うことを誓約いたします。

フリガナ	年 月 日
志 氏 名	印 (保証人印とは別の印)
生年月日	西暦 年 月 日生
性	〒 ー
住 所	
TEL	

保証 書

上記の志願者が貴大学通信教育課程に入学の上は、在学中、学則その他の規則及び貴学の指示決定を守らせることを誓います。また、上記の者が、貴校に対し負担する次の債務について、総額 60 万円の範囲まで連帯保証するものとし、本書をもって貴学との保証契約の成立を証するものとします。

①学納金（授業料等）及び学納金にかかわる遅延損害金
②学内施設・備品などに損害を与えた場合の損害賠償金及びその遅延損害金
③大学運営に支障をきたした場合

フリガナ	年 月 日
保 氏 名	印 (志願者印とは別の印)
生年月日	西暦 年 月 日生
本人との関係	(別居・同居)
性	〒 ー
住 所	
TEL	

連絡人

（フリガナ： ）
（氏 名： ）
（性 別： ）
（生 年 月 日 生： ）
（住 所： ）
（TEL： ）

※保証人本人の記入捺印（志願者による代筆不可）してください。（住所は志願者と同じであっても記入が必要です。）
※志願者が成年者であっても保証人は必要です。
※保証人は、責任能力のある成年者（親族可）に限ります。
※入学後、保証人を変更する時は「変更届」（所定用紙有り）を提出してください。

科目修了試験受験地コード(表1) [入学志願書の受験地コード及び受験地名に使用]

01 北海道・札幌	14 茨城県	22 石川県	35 和歌山県	48 長崎県・長崎
03 北海道・函館	15 栃木県	25 長野県・岡谷	36 鳥取県	49 熊本県
04 北海道・旭川	16 群馬県	26 長野県・長野	37 岡山県	50 大分県
05 北海道・釧路	17 千葉県	27 岐阜県	38 広島県	51 宮崎県
08 青森県	18 東京都第1 (目白キャンパス)	28 静岡県・静岡	40 山口県・山口	52 鹿児島県・鹿児島
09 岩手県	57 東京都第2 (西生田キャンパス)	30 愛知県	41 徳島県	54 沖縄県・那覇
10 宮城県		31 三重県	42 香川県	
11 秋田県		32 京都府	43 愛媛県	
12 山形県	19 新潟県・新潟	33 大阪府	44 高知県	
13 福島県	21 富山県	34 兵庫県	45 福岡県・福岡	

住所コード(表2) [入学志願書の現住所コードに使用]

01 北海道	09 栃木県	17 石川県	25 滋賀県	33 岡山県	41 佐賀県
02 青森県	10 群馬県	18 福井県	26 京都府	34 広島県	42 長崎県
03 岩手県	11 埼玉県	19 山梨県	27 大阪府	35 山口県	43 熊本県
04 宮城県	12 千葉県	20 長野県	28 兵庫県	36 徳島県	44 大分県
05 秋田県	13 東京都	21 岐阜県	29 奈良県	37 香川県	45 宮崎県
06 山形県	14 神奈川県	22 静岡県	30 和歌山県	38 愛媛県	46 鹿児島県
07 福島県	15 新潟県	23 愛知県	31 鳥取県	39 高知県	47 沖縄県
08 茨城県	16 富山県	24 三重県	32 島根県	40 福岡県	48 外国

職業コード(表3) [入学志願書の職業コードに使用]

教員	
11 幼稚園	21 公務員
12 小学校	31 会社員等
13 中学校	41 自由業・個人営業
14 高等学校	51 主婦
15 高等専門学校	52 無職
16 短期大学	61 農・林・漁業
17 大学	62 その他
18 その他	

「職業コード」の記入上の注意

- 各種公団職員は「21」
- 商店などを本人(自身)が営む方、ピアノ教師、生花教師などは「41」
- 職業をもたない方、家事に従事している方は「52」
- 看護師、栄養士などは所属により「21」か「31」のどちらか
- 保育士は、所属が公立の場合は「21」その他の場合は「62」
- 教員の「18」は非常勤・臨時・養護・産休・育休代替など

入学資格コード(表4) [入学志願書の入学資格コードに使用]

① 1年次入学資格者	② 編入学資格者	③ 3年次学士入学資格者
609 高等学校卒業	200 大学中途退学	101 日本女子大学通学課程卒業
801 高等学校卒業程度 認定試験合格 (大学入学資格検定合格)	301 短期大学卒業	102 日本女子大学通信教育課程卒業
901 その他文部科学大臣の 指定した者等	302 高等専門学校卒業	103 大学卒業
		104 学位授与機構により、 学士の学位を授与 (大学卒業者以外の方)

入学動機コード(表5) [入学志願書の入学動機コードに使用]

01 大学卒業資格を得るため	04 本大学で学びたいため	07 特に動機はない
02 職業上の資格を得るため	05 教養のため	08 その他
03 職業上の知識・技術修得	06 生涯学習・再学習	

学習目的コード(表6) [入学志願書の学習目的コード及び希望免許状の種類に使用]

●正科生(卒業のみ希望) ※フードスペシャリスト受験資格取得(食物学科)を含む		
150 卒業のみ希望		
●正科生(卒業と教育職員免許状等希望)		
202 幼稚園一種	210 高等学校一種「家庭」	299 その他(司書教諭、養護教諭等)
207 中学校一種「家庭」	213 中学校一種・高等学校一種「家庭」	
●正科生(3年次学士入学者のうち教育職員免許状等のみ希望)		
302 幼稚園一種	310 高等学校一種「家庭」	399 その他(司書教諭、養護教諭等)
307 中学校一種「家庭」	313 中学校一種・高等学校一種「家庭」	

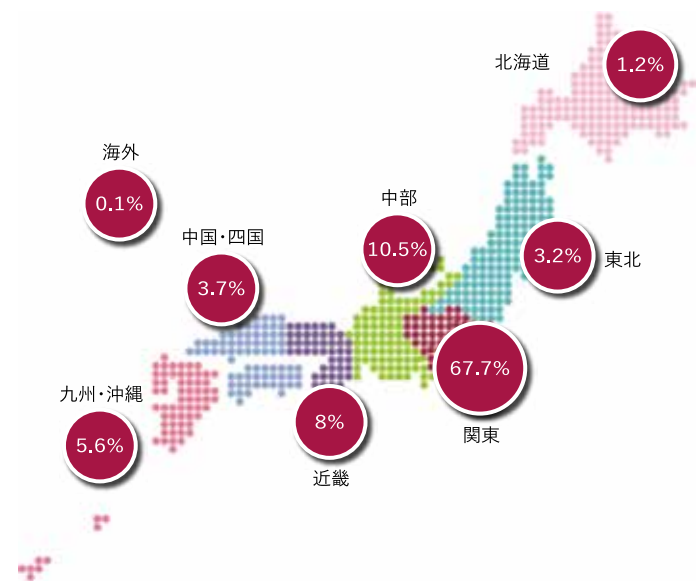
個人情報の取扱いについて

出願にあたって提出いただいた氏名、住所その他の個人情報は、本学において、1 入学選考及び可否の連絡、2 入学手続き、3 教務に関する管理、連絡及び手続き、4 授業運営、5 学生生活全般に関する管理、連絡及び手続き、6 大学内の施設・設備利用に関する管理、連絡及び手続き、7 本人宛に送付する各種書類の発送その他の連絡とこれらに付随する事項を行うために利用します。

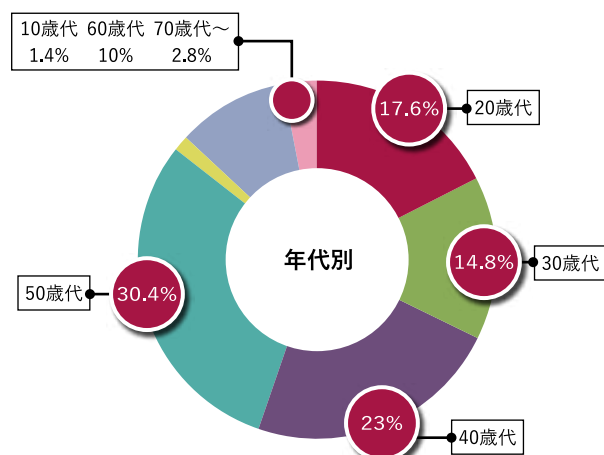
上記の業務は、その一部の業務を本学から当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」と言います。）において行います。業務委託にあたり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要な事項に限り、お知らせいただいた個人情報の一部又は全部を提供することがあります。

在籍者データ (2023年10月現在)

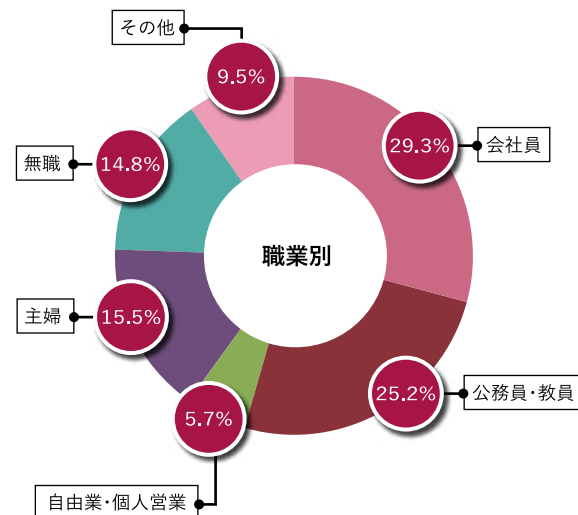
●居住エリア



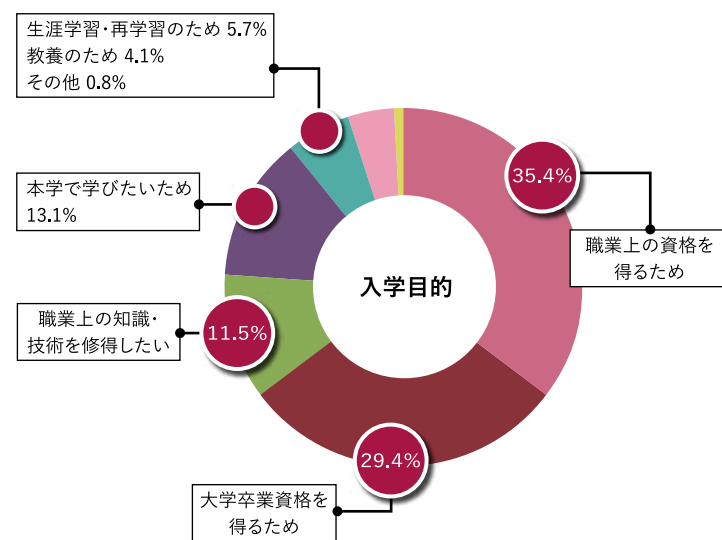
●年代別



●職業別

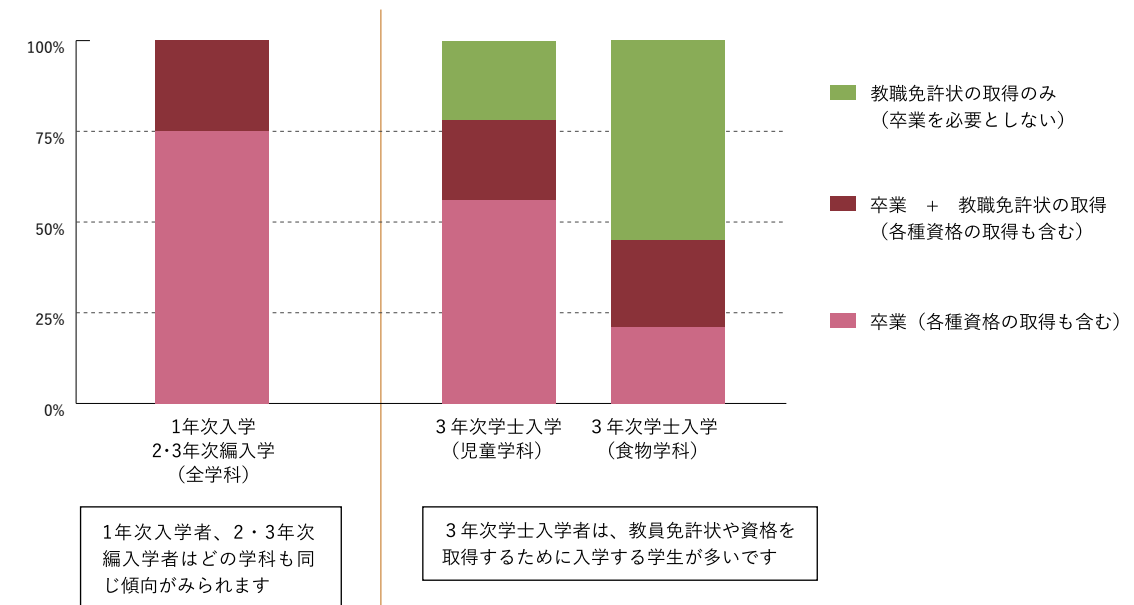


●入学者入学目的



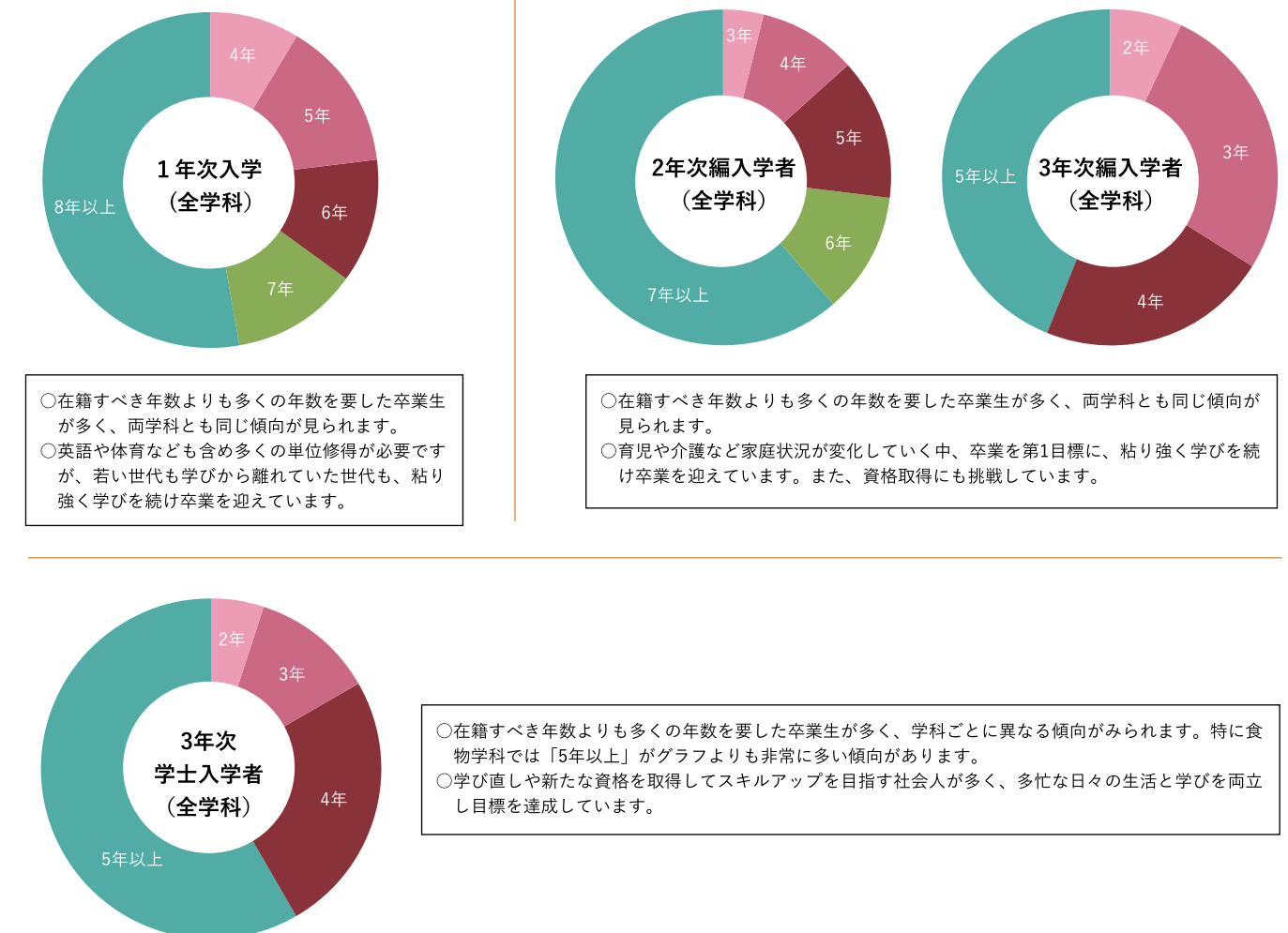
入学者データ (2022～2023年度入学者)

●学習目的



卒業生データ (2013～2023年卒業生)

●卒業までの年数



変更届用紙

志願書類提出後、住所変更・改姓が生じた場合

変更届提出先 〒112-8679 東京都文京区目白台2-8-1
日本女子大学通信教育課(入学係)

1. 志願書類提出後、住所変更・改姓などが生じた場合は、下の変更届を速やかに提出してください(出願書類記入方法・記入例参照)。
また、住所変更の場合は、大学への届けとは別に必ず郵便局にも転居届を提出してください。
2. 保証人に変更が生じた場合は、改めて用紙を提出していただきますのでお申し出ください。

キリトリ線

2024年度 入学志願者用

変更届

該当する番号に○印をつけてください。

氏 名

生年月日 年 月 日

変更日 年 月 日より

↓ 入学区分	↓ 志願学科
1 1年次入学	1 児童学科
2 2年次編入学	2 食物学科
3 3年次編入学	
3 3年次学士入学	

※Ⅰ～Ⅲの変更箇所のみ記入してください。

Ⅰ 志願者氏名

カナ		旧姓	フリガナ
漢字			

(姓と名の間は1マスあける)

ローマ字

Ⅱ 住所

〒 - 住所コード 受験地コード

住所

住所

職業コード

学習目的コード

Ⅲ 電話番号・メールアドレス

自宅

携帯電話

メールアドレス

整理番号

注1) 改姓の場合は、必ず個人事項証明書(戸籍抄本)を添付すること。
注2) コード番号については個人事項証明書(戸籍抄本)、コード表(p.55)を参照。

入学説明会

日本女子大学家政学部通信教育課程の内容について、詳しい説明は全国で開催する入学説明会にて行います。
ぜひ、最寄りの会場へお越しください(下表参照)。
「入学ガイド」をお読みになって、ご不明な点、疑問や入学に関するご相談などがありましたら、入学係宛にお問い合わせください。

通信教育課入学係 03-5981-3200(直通)

受付時間／平日9:00～16:30・土曜日9:00～11:30(日曜・祝日は閉室)
Eメール info-de@atlas.jwu.ac.jp

本学主催(予定)

- 日程や実施方法、参加人数を変更する可能性があります。本学ホームページにて最新情報をご確認ください。
 - 全て事前予約制です。本学ホームページの専用フォームからご予約ください。<https://www.jwu.ac.jp/ccde/>
- <対面での実施について>
予定人数に達したところで予約を締め切らせていただきますので、何卒ご了承ください。
- <遠隔(Zoom)での実施について>
Zoomを使用します。事前にZoomの操作方法、必要機器の準備、参加場所の確保、ネット環境をご確認ください。

日程	実施方法	時間	場所		備考
2023年 12月16日(土)	対面	11:00～12:30	東京	日本女子大学目白キャンパス	事前予約制 ※定員なし ※全体説明のみ
2024年 1月12日(金)	Zoom	10:00～11:30			
1月20日(土)	対面	13:30～15:00	東京	日本女子大学目白キャンパス	
2月 7日(水)	Zoom	18:30～20:00			事前予約制 ※定員あり ※個別相談あり
2月27日(火)	Zoom	13:30～15:30			
3月 2日(土)	対面	13:30～15:30	東京	日本女子大学目白キャンパス	
3月23日(土)	対面	13:30～15:30	東京	日本女子大学目白キャンパス	
4月 6日(土)	Zoom	10:00～12:00			
6月21日(金)	Zoom	18:30～20:00			
●7月以降の日程は後日、本学ホームページにてお知らせいたします。					

私立大学通信教育協会主催(予定)

- 全て事前予約制です。私立大学通信教育協会ホームページの専用フォームからご予約ください。
- 感染症対策のため、協会の運営方法に基づき、日程や実施方法、参加人数を変更する可能性があります。
- 私立大学通信教育協会ホームページにて最新情報をご確認ください。 <https://www.uce.or.jp>

日程	実施方法	時間	場所			備考
2024年 1月27日(土)	対面	11:00～16:00	東京	新宿エルタワー	J R新宿駅下車	事前予約制
1月28日(日)	対面	11:00～16:00	名古屋	サンスカイルーム	地下鉄伏見駅下車	
2月 4日(日)	対面	11:00～16:00	大阪	梅田スカイビル タワーウエスト	J R大阪駅下車	
2月10日(土)	対面	11:00～16:00	大阪	マイドームおおさか 展示ホールA	地下鉄堺筋本町駅下車	
2月17日(土)	対面	11:00～16:00	札幌	TKPガーデンシティPREMIUM札幌大通	地下鉄大通駅下車	
	対面	11:00～16:00	福岡	エルガーラ	地下鉄天神駅下車	
2月18日(日)	対面	11:00～16:00	東京	新宿エルタワー	J R新宿駅下車	
●8月以降の日程は、私立大学通信教育協会ホームページにてお知らせいたします。						